令和 1年 9月 28日※1 (前回公表年月日:平成 30年 9月 28日)

### 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月1	日 校長	長名	所在地										
長岡こども・医療 専門学校		平成25年1月81	日 山本	ヒサ	〒940-0 新潟県長	047 長岡市弓町1-8-3 (電話)0258-35	4 5–1600								
設置者名		設立認可年月	日 代表	者名			所在地								
学校法人 新潟総合学		平成7年3月241	1 池田	祥護	〒951-80 新潟県新	)65  湯市中央区東堀道 (電話) 025-210	通一番町494番地3 〕-8565								
分野	=3 DC	定課程名		認定学	科名		専門士		高度	<b>要</b> 專門士					
教育·社会福祉	教育·补	社会福祉専門課 程		こども医療	條保育科		平成26年文部科学省 第6号	告示		-					
学科の目的	倫理観を	有する人材を育成す					、各分野の専門知識・技術 目的とする。	析を教持	受し、高度な専門	門知識・技術及び					
認定年月日 修業年限	平成27年	2月17日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	Ē	講義		演習	実習		実験	実技					
3	昼	3280時間	94	7時間		1779時間	512時間		0時間	42時間					
生徒総定		生徒実員	留学生数	(生徒実員の内	專	任教員数	兼任教員数		総	単位時間 <b>教員数</b>					
90人		45人	0.	,		3人	20人			23人					
学期制度		]:4月1日~9月3 ]:10月1日~3月 ]:-			I	成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方 基準:A~Dの4段階 方法:レポート、期末試験、		、授業への取り	且み状況などに基づ					
長期休み	■夏 雪	台:4月1日~4月8 ≨:7月23日~8月 ≨:12月22日~1 末:2月26日~3月	19日 月9日			卒業·進級 条件	出席率90%以上 成績評価C評価以上 卒業基準検定を全て取	7得							
学修支援等		担任制: 目談・指導等の対応	有			課外活動	:								
	■主な就保育所、 ■就職打	温 北職先、業界等(平 幼稚園、認定こど 指導内容 (ダンスの実施、就	成30年度卒業生) 七園	、ビジネスマ	マナー指		(例)学生自治組織・ボラン・ ■国家資格・検定/その (平成30年度) 資格・検定名	5月1日時点の情報) 合格者数							
		活用方法の指導、					保育士 幼稚園教諭		14人	14人					
	■就職者	希望者数	13		Ž.		-5)1E EES 5X 880		1170	1420					
	■就職署		13 100		人										
就職等の 状況※2		また	割合 92.9		%	主な学修成果 (資格·検定等) ※3									
	(平成	令和1年5月1日			h	■中退	(例)認定学科の学生・		<b>Eのコンテスト</b> .	入賞状況等					
中途退学	平成31年 <b>■中途</b> 道	☑子句 54月1日時点におい 53月31日時点におい 退学の主な理由 態による就学継続[	いて、在学者45名	(平成30年 名(平成31年	三3月31日	学者を含む) 卒業者を含む)	率 6.3	90							
の現状	■中退限 実践行動 保護者と	方止・中退者支援の 助学による動機付り の情報共有に基	のための取組 ナ、就学状況によ づく連携	なじたカウン											
経済的支援 制度	<ul><li>※有の場</li><li>(1)特待会</li><li>級入学金</li><li>(2)SR制</li><li>■専門写</li><li>※給付対象</li></ul>	5万円授業料82万円) 度…グループ各学校の 実践教育訓練給付 象の場合、前年度の創 者無し	筆記による審査で記 の在校生・卒業生を : ◆給付文 給付実績者数につい	窓定ランクに。 家族・兄弟姉 は象シ非給付いて任意記載	i妹に持って ·対象		級授業料15万円、B級授業業 3介を受けると入学金や授業			5円授業料40万円、S					
第三者による 学校評価	※有の場	D評価機関等から 合、例えば以下につし は、受審年月、評価結	いて任意記載	有)無 掲載したホー.	ムページU	RL)									
当該学科の ホームページ URL	URL:http	o://n-heart-web.n	et/common/pdf	2014/basic	_info.pdf										

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
- ・学外有識者、企業、業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を実施していく。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会においては、既に実施されている教育課程の編成について内容と実績についての説明を行い、それ を踏まえて企業、業界団体等の委員からは、より実践的かつ専門的な教育課程が編成できるよう意見、要請を頂く。その 場での質疑応答を行うとともに、その後の継続的な校内での検討や、必要に応じた日頃からの連携を基に、教務責任者 が中心となって定期的にカリキュラム改善等の教育課程編成につなげる。

### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
古田修	新潟市こども創造センター センター長	平成30年4月1日~	(1)
若槻 司		平成30年4月1日~	1
馬場 裕子		平成30年4月1日~	3
山本 ヒサ		平成30年4月1日~	
山本 秀一郎		平成30年4月1日~	
山口 昌一		平成30年4月1日~	
平澤一郎	長岡こども・医療・介護専門学校	平成30年4月1日~	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年7月30日 10:30~11:30

第2回 平成30年12月27日 14:30~15:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・新潟市こども創造センターでの演習科目を、「地域活動実践演習」とし、普段の授業で行っている「保育実技演習Ⅲ」とは 別の科目として設定する。
- ・そのことにより、より地域での実践、総まとめの科目としての意味合いを持たせていく。
- ・3年生は来場した親子に向けての演劇を企画・実演する内容はそのままに、1・2年生はサポート役に徹し、次年度以降に自分たちが行うことを見越して学んでもらう。
- ・1年次の保育実習入門に関しても、技術よりも保育者としての基本的姿勢などについてを重視することにしていく。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
  - 一般的な養成カリキュラムに加え、地域での実情などを考慮しての養成を行う。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

#### 「保育実習入門」

本実習が始まる前段階としての実習を行う。連携先企業での見学・1日実習を通して、保育士・幼稚園教諭になるための 勉強の意識付けとしての実習を行う。1日実習をしてみて主に「意欲」「子どもへの関わり」の2点で現場保育士に個別にア ドバイスを頂くと共に、評価をしてもらう。 (3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
	本実習が始まる前段階としての実習を行う。連携先企業での見学・1日実習を通して、保育士・幼稚園教諭になるための勉強の意識付けとしての実習を行う。	学校法人華光学園 長岡和光幼 稚園 なごみ保育園
│(旧科目名:保育実技	3年間の学びの総まとめとして、保育士の視点での地域活動を捉える。具体的には連携先企業を舞台としての一般の親子向け演劇の発表会を行う。学生は企画・広報・演出全てを自分たちで行うようにしていく。	新潟市こども創造センター

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
- ・教員に必要な実務上の知識、技術や指導力の向上を目的として、組織的な研修を行っていく。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本保育学会」(連携企業等:一般社団法人 日本保育学会)

期間:2018年 5月12日(土)~13日(日) 対象:教職員

内容:保育学生地域活動参加による学習効果についての研究発表を行う。その他にも、保育業界の近年の動向、制度などの改正点、指導法などについての最新情報を得る。

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 新潟県私立幼稚園協会 定例会議 」(連携企業等:新潟県私立幼稚園協会 )

期間:2018年 6月14日(木) 対象:教職員

内容:県内各幼稚園の園長との会議を行う。実習の様子から就職状況についての情報交換を行い、その中でお互いの指導法方法などについてディスカッションを交わす。

### (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本保育学会」(連携企業等:一般社団法人 日本保育学会)

期間:2019年 5月4日(土)~5日(日) 対象:教職員

内容:「新人保育士の考える保護者支援」についての研究発表を行う。その他にも、保育業界の近年の動向、制度などの 改正点、指導法などについての最新情報を得る。

## ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 新潟県私立幼稚園協会 定例会議 」(連携企業等:新潟県私立幼稚園協会 )

期間:2019年 6月27日(木) 対象:教職員

内容:県内各幼稚園の園長との会議を行う。実習の様子から就職状況についての情報交換を行い、その中でお互いの指導法方法などについてディスカッションを交わす。また、人財確保のための第1回合同就職説明会を行う件についても打ち合わせを行う。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目を中心に評価 を実施する。評価結果は公表するとともに、教育活動その他の学校運営に資するよう、校の内部での活用を図るものとす る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 教育理念•目標
(2)学校運営	2. 学校運営
(3)教育活動	3. 教育活動
(4)学修成果	4. 教育成果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	6. 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7. 学生の募集と受入
(8)財務	8. 財務
(9)法令等の遵守	9. 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	10. 社会貢献
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

### (3)学校関係者評価結果の活用状況

企業様等よりいただいた貴重な学校関係者評価を、学内の教務部門を中心に、下記のように活用している。

- ・教務部で実施している毎月の課長会において、各関係学科への提言をフィードバックし、情報の共有と改善策等の策定 を行っている。
- ・カリキュラム等の改定や、定期的な実習報告会に反映させている。
- ・各系において、教務会を実施して、職員全体での情報の共有を図っている。
- ・又、教務部だけでなく、事務局とも情報共有し、学校全体で、提言等の浸透を図っている。
- ・委員となっていただいている企業様等を中心に、提言のフィードバック状況の説明を行っている。・実習だけでなく、地域のボランティアに関しても学生に周知し、参加を呼び掛けている
- ・地域ボランティアも子どもに関するものだけではなく、障害児者支援や地域貢献に関するものにも参加している。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

The state of the s			
名 前	所 属	任期	種別
古田 修	新潟市こども創造センター センター長	平成30年4月1日~	企業等委員
小林 葵	長岡こども・医療・介護専門学校 こども医療保育科 卒業生	平成30年4月1日~	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期	
(ホームページ・ 広報誌等の刊行物・ その作	
URL:http://n-heart-web.net/common/pdf/h26_hyoul	<u>ka_school.pdt</u>
	め、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況
に関する情報を提供していること。」関係	
(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基	本方針
	イドライン」に基づき、企業等の学校関係者が連携に必要と考える学校の教育
	もしていく。また、連携および協力に更に必要と思われる情報については、要請
と必要性を鑑み慎重な判断をもって提供していく。	
(2)「専門学校における情報提供等への取組に関	
ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の特徴
(2)各学科等の教育	学科・コース紹介
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校の特徴
(5)様々な教育活動・教育環境	資格・就職実績、施設・設備紹介
(6)学生の生活支援	キャンパスライフ
(7)学生納付金・修学支援   (8)学校の財務	入試・学費情報
(8)字校の射務   (9)学校評価	法人の財務状況
(9)字校評価   (10)国際連携の状況	学校関係者評価
(10)国际建務の状況	
(11)をめ過  ※(10)及び(11)については任意記載。	
然(10)及び(11)に対けては任息記載。  (3)情報提供方法	
(本ームページ・ 広報誌等の刊行物 · そのff	h( ) )
URL:http://n-heart-web.net/	<u> </u>
ONE.Http://Hineartiweb.Het/	

(孝	敎育	• 社	会福祉専門課												
	分類	į						授	業方	法			教員		
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			音楽I	保育の内容に沿って、こどもの音楽表現活動を援助できる基本的な演奏 技術、音楽的知識を学びます。	1年•前後	112			0		0			0	
0			保育実技演習 IA	実際の保育現場で活かせるような基本的な制作活動を中心とした演習を 行う。	· 前 後	56			0		0		0		
0			保育実技演習 IB	実際の保育現場で活かせるような基本的な身体表現活動を中心とした演 習を行う。	前 後	28			0		0		0		
0			保育基礎演習 I	保育に関する課題図書を指定し、授業内ではディスカッションを行うことで、保育者として求められる知識の他に「読み」「書き」「話す」カの育成を図る。	前後	28			0		0		0		
0			スタディ スキル演習 I	課題図書がある場合は文章読解カ、調査する必要があれば情報収集能力、そしてそれらを使いつつレポート課題を執筆する文章構成力が必要となる。その際に役立つように、この授業では手順を踏みながら能力を身につけ、今後のレポート執筆につながるようにしていく。	前後	28			0		0		0		
0			Word演習	保育現場で求められる基本的なWord操作を学ぶ。Word検定3級の合格を 目指す。	1 年 ・前	28			0		0		0		
0			社会人常識 マナー検定対 策	社会人として求められる最低限のマナーを身に付ける	1 年 後	28		0			0		0		
0			レポート対策	レポート作成が困難な学生のための科目である。レポートの書き方などは他科目で行っているため、実際にレポートを書いてみて、添削等を行い、自分でレポートがしっかり書けるようになることを目的とする。	• 前 後	28		0			0		0		
0			保育実習入門	本実習を始めるにあたっての導入実習して、1日観察実習を行う。実習 先は提携先の企業により実施する。事前に実習における心がけやマナー を指導し、実習後はこの後にある本実習に向けての指導を行う。	1年・前後	30				0		0			0
0			保育基礎実習	保育所での観察実習を中心に「保育所の役割」「保育士の職務について」「子どもの実態」を学ぶ。合わせて実際の保育にも参加し、子どもと触れ合ったり、読み聞かせや手遊びなどの実技を実践する。	+ 後	84				0		0			
0			保育総合演習	1~3年全員合同で授業を行う。異年齢の学年との交流を活かし、学年間で「学び合う」コミュニティの創造を目的とする。毎授業は学生主体の模擬保育を中心に行われ、実習後には実習報告会を行うなどし、上の学年の知識と技術を下の学年へと継承していく。	l :	28			0		0		0		

0	憲法	憲法を学習することは、国民・個人の生命・自由・幸福の追求を学ぶことであり、より良き生活条件(well-being) 人は「国常 を実現すること		28				0		0
	15.124	である。すなわち、「人間」の幸福実現のために「国家」の存在の妥当 性を確認する。	· 前							
0	情報 リテラシーと 処理技術 I	情報技術を問題解決のために、自分で考え活用できるようになるために、コンピュータのしくみ、動作原理など基本的な考え方を学ぶ。また、情報によって社会基盤や生活環境がどのように変わってきたのか、今後社会がどのように変わっていこうとしているのかなどについて理解する。	年	14			0	0		0
0	健康科学	現代社会が抱える健康に関する諸問題や、食生活・身体活動・睡眠など 健康に関わりの深い生活習慣が身体に及ぼす影響について解説する。ま た、個人や社会全体の健康に関する問題解決能力の修得を目指す。	1 在	14				0		0
0	英語コミュニ ケーション	小学校における外国語活動の導入も念頭に入れ、英語の基本的知識の復 習に始まり、英語絵本の読み聞かせができるような英語力の育成を目指 す。	1 在	30				0		0
0	造形表現技術	保育現場で生かせる基本的な造形技法を学ぶとともに、グループでの共 同制作を作るなど、仲間との協力して作品を作ることも経験していく。	1年•前後	56			0	0		0
0	児童家庭福祉	世の中には普通に過ごせない子どもがたくさんいる。虐待を受けている子ども、両親がいない子ども、障害を持っている子ども。そうした子どもが幸せに過ごしていくための方法や制度・施設などを学ぶ。	1 年 前	28	C	)		0	0	
0	社会的養護	本講義では、家庭養護と共に社会的養護に焦点を当て、その意義や歴 史、法制度、実施体系などを中心に基礎的知識を習得する。また、こど もの権利擁護、自立支援のあり方についても考える。		28	(	)		0		0
0	教育課程論Ⅰ	主に幼稚園での教育課程の在り方や教育課程の作成方法などについて理論を主に学んでいく。	1 年 前	28	(	>		0		0
0	教育課程論Ⅱ	主に保育園での教育課程の在り方や教育課程の作成方法などについて理論を主に学んでいく。	1	20	(			0		0
0	発達心理学	保育における心理学の意義、発達の原理、認知機能や愛着の発達に関する諸理論について学ぶ。さらに愛着理論と併せて日本文化において重要な"甘え"についても学習し、保育実践のなかで多角的視点から子どもを理解し、見立てるための視点を養う。	1 年		(			0		0
0	教職論I	教職(主に幼稚園教諭)の意義及び教員の職務内容(研修、服装及び身分保障等を含む)、進路選択に資する各種の機会の提供等を行うことで、教職への志向性を高める。		28	C			0		0
0	教職論Ⅱ	保育士資格の意義及び保育士の職務内容(研修、服装及び身分保障等を 含む)、保育士としての専門性などについての理解を深める。	2	28				0		0
0	保育原理	社会的集団保育の場としての保育所保育の在り方についての基本的な認識を得ることを目指す。保育所保育指針に基づいた保育の考え方を実践的に示しながら、保育の歴史の概略、保育の内容と方法の基本、現代社会における保育の課題等について論じる。	1 年	28				0		0
0	教育心理学	学習(学び)、動機づけ、記憶のメカニズムに関する基礎的な心理学の理論を学ぶ。特に保育実践における汎用性が高いと思われる学習理論と動機づけについては、具体的な場面を挙げながら重点的に学習する。	1 年	14			0	0		0

	0	保育内容総論	保育内容5領域を横断的に学ぶ。子どもへの指導法についての基本的な 知識を身に付ける。	1年・後	14		0		0			0
	0	保育内容(言 葉)	絵本の読み聞かせ、紙芝居の基本的な演じ方、パネルシアターの技法・ 演じ方、他にも様々なお話や「言葉」の領域に関わる技術を、年齢や場 面、規模に応じて選書・選定・作成できるようになるための実演と講 義。		14		0		0			0
	0	情報 リテラシーと 処理技術 II	情報技術を問題解決のために、自分で考え活用できるようになるために、コンピュータのしくみ、動作原理など基本的な考え方を学ぶ。特に演習を通して。基本的なソフトの使い方をマスターする。		14		0		0			0
	0	スポーツ (実技)	各種のスポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図るとともにスポーツをすることの楽しさを味わう。自己の体力・健康の保持増進を図るとともに各スポーツの指導法を学ぶ。		28			0		0		0
	0	こどもと リズム表現 I	保育内容(表現)に関する内容のうち、音楽を使っての表現方法を学ぶ。具体的にはリトミックなど、実際に身体を動かす表現方法による、保育内容の会得を目的とする。	1 年 後	14		0		0			0
	0	保育実習事前 指導 I	実習の目的と意義、実習の過程や心構え、保育所実習、施設実習どについての理論を学ぶ。併せて、日誌の書き方、指導案の書き方についても 学ぶ		14	0					0	
	0	こどもと造形 II	図画工作や造形表現施術で習得した基本的な造形技術を踏まえ、実際の保育場面でどのように子どもへの造形指導を行っていくかについて、演習を交えて学んでいく。	1 年 ・ 後	14		0					0
	0	図画工作Ⅱ	幼児造形の指導援助者として形態や色彩などの造形の基本的な理論を学ぶ。それらをふ前ながらテーマをもとに「描く」「つくる」など製作の実際を学び、合わせて幼児が実際に使う教材、用具や描画材について体験的に理解する。	十年	14		0		0			0
	0	教育心理学Ⅱ	教育や人の発達について心理学的に理解していく学問である。ここで学んだことを活かすために、教育における人の心の動きを学ぶことをねらいとする。	1 年 後	14		0		0			
	0	保育内容(健 康 I)	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「健康」は、子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うことを目標としている。これらの内容について学習し、保育者が行う援助や関わり、子どもの発達援助に必要な知識と技能を習得する。	牛	14		0		0			0
	0	教育実習事 前・事後指導 (幼稚園)	幼稚園での実習に挑むにあたっての事前の知識や技術を修得する。特に 指導案作成など、子どもの前に立っての部分実習などが行えるように演 習なども織り交ぜて行う。	後	14		0		0			0
0		音楽Ⅱ	保育の内容に沿って、こどもの音楽表現活動を援助できる応用的な演奏 技術、音楽的知識を学びます。	前後	112		0		0			0
0		保育実技演習 Ⅱ A	実際の保育現場で活かせるような応用的な制作活動を中心とした演習を 行う。	前後	56		0		0		0	
0		保育実技演習 Ⅱ B	実際の保育現場で活かせるような応用的な制作活動を中心とした演習を 行う。	2年・前後	28		0		0		0	

0		保育基礎	楚演習	i   とて	育に関する課題で、保育者と で、保育者と 育成を図る。	して求めら	れる知識	战の他に「語	読み」「書	き」「話す	」カ	2 年·前後	28		0		0	0		
0		就職実務	务I		職活動を始め て、面接指導、							2年•前後	70	0			0	0		
0		実習事前 指導	前事後		習にあたって( っての準備な。			実習での別	流れなど、	実習に挑む	にあ	2 年 · 前後	28	0				0		
0		基礎介語	雙技術	的な	育実習 I (施 な介護技術を 事介助の方法。	修得する。	具体的に					2 年 · 前	14			0	0	0		
0		レポート	卜対策	き レオ	ポート作成の	支術などを	演習を通	近して具体的	的に行う。			2 年·前後	28		0		0	0		
0		卒業研究	咒指導	しとし	れまでの学び( いう形でまと) は発表会を行	める授業で						2 年 ・後	10		0		0	0		
0		保育士 専門試験	食対策	70 ±	立保育所での! も保育士専門! 自身が学べる。	は除の対策	た行う	四类/十二-	七的北平山			2 年 · 後	10		0		0	0		
0		保育総合	含演習	で 模 <sub>携</sub>	・3年全員合同・ 「学び合う」: 擬保育を中心! の知識と技術:	コミュニテ こ行われ、	ィの創造 実習後に	を目的とす は実習報行	する。毎招 告会を行う	受業は学生主	体の	2 年・前後	56							
	0	社会福祉	止論	のき	講義では、社: 実施体制につい 、これからの	ハ(埋解り	る。その	ノ上じ、現1	て任会によ	うける誅趄を	福祉 もと	2年•前	28	0			0	0		
	0	こどもの I	の保健	Ĕし、 て∃	命の保持と情 、保育実践にる 子どもの身体 理解を深める。	おける保健 発育・生理	活動の重	要性を認	識する。具	具体的な内容	とし	2年•前	28	0			0			
	0	こどもの II	の保健	女王	団においての( 全管理につい <sup>*</sup> の予防法およ <sup>*</sup>	(埋脌りる	。また、	窓栄症を ゆ	半心としだ	環境・衛生管 −疾病につい	理・ て、	2年・後	28	0			0			
	0	教育課程	呈論 I		に幼稚園でのき を主に学んでい		)在り方や	>教育課程(	の作成方法	まなどについ	て理	2 年 · 前	28	0			0	0		
	0	教育課程	呈論Ⅱ	と呼 で網 史的	何を教えるか 呼びます。教 編成されるもの 的変遷を学び 教育・保育を	育課程は学 のです。そ つつ、教育	習者の実 こでこの 課程を編	態や社会的 授業では 成する力	的状況に含 教育課程の	合わせて、名 )原理や制度	機関、歴	2年・後	28	0			0	0		
	0	こどもと言葉表現		葉を	どもの表現技徒 を獲得するプ についての理知	コセスから	、言葉に				が言 紙芝	2 年 · 前	14	0			0		0	

0	教育相談	単なる知識の吸収ではなく、実際に教育現場で活用できるような技術や心構えを身につける。この授業では、教育相談およびカウンセリングの意義、目的、理論背景、技法などについての理解を十分に深めた上で、発達年齢によって異なる、典型的な心理的問題についての理解と、心理的援助の実際について、具体的に検討する。	年 前	28	0			0			0
0	教育方法	教育方法の定義、意義、守備範囲の概念についての基本的知識を修得し、教育目標、教育内容、評価との関係性についての理解を深めるとともに、教育(保育)現場における様々な課題を解決する方法を学ぶ		28	0			0		0	
0	こどもの 食と栄養	健全な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を与び、子どもの発達・発育と食生活の関連について理解を深める。食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。	年	14		0		0			0
0	障害児保	近年、保育所・幼稚園においても統合保育が盛んとなってきたため、関 「書児系児童福祉施設で働く保育士だけでなく、すべての保育者が障害児 に対する支援を学ぶ必要がある。必要な知識について教授する。		14		0		0			0
0	乳幼児保	乳幼児保育を子どもの発達の視点からとらえ、その現状と課題について 「 I 学ぶ。絵本などの言語文化財を使い、乳幼児保育の実践を通じよりよし 保育をともに考える。		14		0		0			0
0	国語 I	言葉の成り立ちから、保育士に求められる正しい日本語の使い方について学んでいく。また、かるたなど日本古来の言葉での遊びについても学ぶ。		28	0						0
0	教育制度政論	行 教育に関わる各種制度についての基本的な理解を深め、教育機関と行政 組織との繋がり、教員免許の法的根拠、職務規定、研修などについて理解を深める。	2年・後	28	0						0
0	発達検査	- 発達障害への理解と共に、心理職の行う発達検検査法の概要・手順・目的などについての基本的な理解を深める	2 年・後	28	0						0
0	教育実習 (1回目)	保育者の指導のもと、現実の幼稚園現場における幼児との直接的なかかわりを通じて、保育者となるための実践上、研究上の基礎的な能力、態度を養成する。前半では特に部分実習を行うことが中心となる。		70			0		0	0	
0	保育実習(施設)	保育所の生活に参加し、保育所の内容、機能等を学ぶ。また、実践現場での体験を通して、保育士としての職業倫理とこどもの最善の利益の具体化について学ぶことにより、こどもと保育士の役割についての理解を深める。	年	70			0		0	0	
0	相談援助	本科目は社会福祉士の身につけるスキルである「援助技術(相談援助)」を習得することを目的としている。この技術の実践例としては、保護者との面談場面が主となる。入園時の保護者面接・子育で支援相談・虐待の予防や早期発見・障害児を持つ親への支援など応用場面は幅広い。		14		0		0		0	
0	こどもの 食と栄養	健全な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を学び、子どもの発達・発育と食生活の関連について理解を深める。食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。	年	14		0		0			0
0	障害児保	近年、保育所・幼稚園においても統合保育が盛んとなってきたため、関 ・		14		0		0			0
0	乳幼児保	乳幼児保育を子どもの発達の視点からとらえ、その現状と課題について ▼ぶ。絵本などの言語文化財を使い、乳幼児保育の実践を通じよりよし 保育をともに考える。		14		0		0			0

	0	社会的養護内 容	本講義では、事例を通して社会的養護・施設養護の実際について理解を深めると共に、支援のあり方・計画について検討する。また、権利辨護、自立支援についてより具体的に検討し理解を深めると共に、被措置児童等虐待(施設内虐待)の問題などから教育者・保育者の倫理についても学ぶ。	年	14			0	0			0	
	0	こどもと体育 II	運動・スポーツの教育的可能性、こどもの発達、体育科のこれまでの変遷について理解を深める。さらに模擬授業を行い、計画・実践・評価することを通して実践的力量を高める。	2 年 前	14			0		0		0	
	0	こどもと造形 表現 II	子どもへの造形指導について、演習を通して学ぶ。特に5領域表現に関連しての指導方法を身に付ける。	2 年 · 前	14			0	0			0	
	0	体育	自己の体の動かし方と共に、子どもへの体育指導について基本的な理論 と共に、実際に演習を行いながら指導の実際を学んでいく。	2 年·後	14			0				0	
	0	こどもと 音楽表現Ⅱ (声楽)	子どもへの音楽指導のうち、声楽について学ぶ。基本的な発声方法を行うことで、自分での声の出し方を体験する中から子どもへの歌唱指導の方法を学んでいく。		14			0				0	
	0	こどもと 造形表現 I	こどもは発達と共に感性が広がり、無限の可能性を秘めており、いろいるなことに興味を持ちチャレンジしていく。この講義では上記のことを踏まえ、幼稚園、保育所での表現におけるこどもの発達と関連して教材研究を中心に製作指導を行う。	<b>年</b> 後	14	(	0		0			0	
0		音楽Ⅲ	保育の内容に沿って、こどもの音楽表現活動を援助できる実践的な演奏 技術、音楽的知識を学びます。	· 前 後	104			0	0			0	
0		就職実務ⅡA	電話対応、職場での文書作成など、社会人としての一般的な業務についてのマナーについて行う。	· 前 後	30	(	0		0		0		
0		就職実務ⅡB	昨年度に実施した一般教養に関する知識の定着をはかるよう、日々小テストを行う。それと並行し、就職試験での作文・面接対策も行う。後半は、就職後の意識づけを中心に行っていく。	前後	52	(	0		0		0		
0		面接対策	学生で順番に面接官役を行い、実際の面接場面を想定して、演習を行いながら実際の面接場面を想定して練習を行う	3年•前後	23			0	0		0		
	0	Excel演習	保育現場で求められる基本的なExcel操作を学ぶ。Excel検定3級の合格 を目指す。	3 年 • 前	22			0	0		0		
	0	卒業研究指導	これまでの学びの中で疑問に思ったこと、深めたいと思ったことを研究という形でまとめる授業である。論文の作法から調べ方までを行い、最後は発表会を行う。	· 前 後	35			0	0		0		
	0	保育専門演習	保育基礎演習 I ・ II で学んだスキルを活かし、より高度な保育専門書を 読み込んでいく。その上で、現場で役立つような「読み」「書き」「記す」力を育成すると共に、自分で問題を発見する能力を身に付ける。	· 前 後	23			0	0		0		
0		保育実技演習 Ⅲ A	1, 2年での学びを応用し、実際の保育現場で活かせるような実践的な制作活動を中心とした演習を行う。最終的には一般客を呼び込んでの発表会の運営を行う。		52			0	0		0		0

0		保育実技演習 ⅢB	1,2年での学びを応用し、実際の保育現場で活かせるような実践的な制作活動を中心とした演習を行う。最終的には一般客を呼び込んでの発表会の運営を行う。	3年・前後	23		0	0		0		0
0		地域活動実践 演習	1,2年次での学びの応用の場として地域での活動に参加していく。具体的には子育て支援センターなどでいかにして親子が楽しめるのかということを保育士のスキルを「地域」の中で活かしていくかを実践を通して学んでいく。	3 年	48		0	0	0		0	0
0		実習事前事後 指導	実習に挑むにあたって、実習の心構え、準備物、実習の流れ、実習簿の記入の方法、お礼状の書き方など一連の流れを学ぶ	,	23	0				0		
	0	医療保育特講 A	保育の現場における「死生観」を具体的事例や理論を通して学んでい く。	3年・後	15		0	0			0	
	0	医療保育特講 B	保育の現場で特に医療的ケアが必要な子どもに焦点を当てる。病気の子どもの心理や支援方法、病気の子どもを支える家族や専門職に就いて学び、病気の子どもへの保育士としての支援方法を考えていく。	3年•後	15		0	0			0	
	0	食生活 アドバイザー	子どもの食育を指導できるような知識を身に付けることを目的とする。 食生活アドバイザー検定3級の取得を目指す。	3 年·前	22		0	0			0	
	0	こどもの保健検定	2年次までのこどもの保健の授業内容を踏まえて、より実践的な保健の 知識を得る。「こどもの保健検定3級」の合格を目指す。	3	14		0	0			0	
	0	幼児体育指導 法	これまで学んだ体育や健康の理論を応用し、現場で子どもたちにどのような体育指導が行えるのかを実技を通して学んでいく。	3	33		0	0			0	
	0	保育士 専門試験対策	公立保育所での勤務を目指す者向けの公務員試験対策である。試験の中でも保育士専門試験の対策を行う。授業は一方的な受け身ではなく、学生自身が学べるように課題も多く設定されている。		60		0	0		0		
	0	公務員試験 対策	公立保育所での勤務を目指す者向けの公務員試験対策である。試験の中でも一般教養試験の対策を行う。学生自身が積極的に学べるように課題も多く設定されている。		52	0		0		0		
	0	紙芝居 実技演習	舞台と拍子木を用いた、伝統的な紙芝居の技法を学ぶことを目的とする。多くの紙芝居に触れることはもちろんのこと、学生自身が演じる中で、自ら紙芝居技法を獲得していく。		52		0	0			0	
	0	保育総合演習	1~3年全員合同で授業を行う。異年齢の学年との交流を活かし、学年間で「学び合う」コミュニティの創造を目的とする。毎授業は学生主体の 模擬保育を中心に行われ、実習後には実習報告会を行うなどし、上の学 年の知識と技術を下の学年へと継承していく。		52		0	0			0	
	0	保育・教職実 践演習 I	教職に就くにあたり、教職としての心構え、クラス運営の方法などについて演習を踏まえて学んでいく。	3	23		0				0	
	0	保育・教職実 践演習Ⅱ	既に学んできた教員としての資質能力がどの程度形成されているかを確認し、自己の課題を自覚し、その克服と習得に努めます。さらに、教職生活を円滑にスタートできるよう、学校現場の視点を取り入れながら、保育者としての使命感・責任感のある実践的指導力の獲得を図ります。	3年・後	23		0	0			0	

0		教育実習 (2回目)	保育者の指導のもと、現実の幼稚園現場における幼児との直接的なかかわりを通じて、保育者となるための実践上、研究上の基礎的な能力、態度を養成する。同時に保育者としての使命感、さまざまな保育を通した実践的指導力の基礎を体得し、保育の実践上の課題を解決していく上で必要とされる資質・能力を培う。	年	70			0		0	0		
0		保育実習 I (保育所)	児童福祉施設の生活に参加し、施設の内容、機能等を学ぶ。また、実践現場での体験を通して、保育士としての職業倫理とこどもの最善の利益の具体化について学ぶことにより、こどもと保育士の役割についての理解を深める。	年	70			0		0	0		
0		保育実習Ⅱ (保育所)	実際に指導案を作成し、クラスを担当して保育所保育の目標、内容、 法、評価について具体的に学ぶ。また、地域社会、保護者、保育者集団におけるコミュニケーションの方法と実際についても学習する。これらの学びをもとに、保育士として必要な資質・能力・技術を習得させ、子育て支援をするために必要とされる能力を養う。	年	70			0		0	0		
0		保育実習Ⅲ (施設)	実際に指導案を作成し、クラスを担当して保育所保育の目標、内容、方法、評価について具体的に学ぶ。また、地域社会、保護者、保育者集団におけるコミュニケーションの方法と実際についても学習する。これらの学びをもとに、保育士として必要な資質・能力・技術を習得させ、予育て支援をするために必要とされる能力を養う。	年	70			0		0	0		
0		相談援助	本科目は社会福祉士の身につけるスキルである「援助技術(相談援助)」を習得することを目的としている。この技術の実践例としては、保護者との面談場面が主となる。入園時の保護者面接・子育て支援相談・虐得の予防や早期発見・障害児を持つ親への支援など応用場面は幅広い。		14		0		0		0		
0		社会的養護内 容	本講義では、事例を通して社会的養護・施設養護の実際について理解を深めると共に、支援のあり方・計画について検討する。また、権利叛護、自立支援についてより具体的に検討し理解を深めると共に、被措置児童等虐待(施設内虐待)の問題などから教育者・保育者の倫理についても学ぶ。	年	14		0		0			0	
0		こどもと体育 II	運動・スポーツの教育的可能性、こどもの発達、体育科のこれまでの変遷について理解を深める。さらに模擬授業を行い、計画・実践・評価することを通して実践的力量を高める。	3 年 • 前	14		0			0		0	
0		保育相談支援	保育現場における、子育て支援の方法について、ソーシャルワークのスキルを応用しての方法について学ぶ。特に具体的な場面を設定し、ロールプレイなども交えて、体験しながら学びを深めていく。	3 年·後	14		0		0		0		
0		こどもの保健 Ⅲ	こどもの保健 I・Ⅱで学んだ知識を生かし、実際に演習を行っていく。 子どもの身長・体重の計測法や子どもの怪我の応急手当など、保健に関する内容について演習を行っていく。	3年・後	14		0		0			0	
0		こどもと音楽 表現(第3教 程)	保育現場に出ていくに当たっての音楽スキルについて身に付けていく。 ピアノ演奏技術に加え、声楽についても再度総合的に演習を行ってし く。	3 年・後	10		0		0			0	
	<del>'</del>	<u></u> 合計	105	1 科	- 目	1		32	38			時間	$\dashv$

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件:出席率90%以上、成績評価C評価以上。検定取	7得3つ以上。 1学年の学期区分 2期
履修方法:上記授業の出席状況、評価試験および該当検定網	結果による。 1 学期の授業期間 18週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について〇を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

#### 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日 校長名			所在地					
長岡こども・医療		平成25年1月8	日 山本ヒサ	〒940-0 新選里」	)047 長岡市己町1-8-3	4					
専門学校 設置者名		設立認可年月	•	A)I And STC	長岡市弓町1-8-3 (電話)0258-3	5-1600 所在地					
学校法人				〒951-8							
新潟総合学		平成7年3月24	日 池田 祥護	新潟県新	「潟市中央区東堀) (電話)025-210	通一番町494番地3 D-8565					
分野		定課程名	認定的	学科名		専門士		高度専門士			
教育·社会福祉		社会福祉専門課 程	こども保育			平成26年文部科学省 第6号		=			
学科の目的 認定年月日	倫理観を		き、商業実務専門課程、教育 することをもって、社会に貢献				所を教授し、高度	な専門知識・技術及び			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位 数	講義		演習	実習	実験	実技			
2	昼	2162時間	713時間		1098時間	250時間	0時間	28時間 単位時間			
生徒総定	Ę	生徒実員	留学生数(生徒実員の内	1	<b>厚任教員数</b>	兼任教員数		総教員数			
60人		3人	0人		3人	20人		23人			
学期制度		]:4月1日~9月3 ]:10月1日~3月 ]:-		•	成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方 基準:A~Dの4段階 方法:レポート、期末試験、		取り組み状況などに基づ			
長期休み	■夏 名 ■冬 名	台:4月1日~4月8 季:7月23日~8月 季:12月22日~1 末:2月26日~3月	] 19日 月9日		卒業·進級 条件	出席率90%以上 成績評価C評価以上 卒業基準検定を全て取					
学修支援等	■個別村 個別ガイ	担任制: 目談・指導等の対け (ダンスの実施、補 カウンセリングの	習授業の実施、メールによ	はる相談	課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボラン・ 長岡市イベントのボラン ■サークル活動:					
	■ 就別が ・	経活用方法の指導	職セミナー開催、ビジネス 就職筆記試験対策、面接 0 0 0 0 0 0 8割合		主な学修成果 (資格·検定等) ※3	■国家資格・検定/その (平成30年度) <u>資格・検定名</u> 幼稚園教諭  ※種別の欄には、各資かのでは、一般では、各資かのでは、一般では、各資かのでは、できないでは、一般では、各質がでは、各質がでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	卒業者に関する平 種 受験者  ① 0人  格・検定につい  お記載する。同時に  ち、修了と同時に  )	成31年5月1日時点の情報) 数 合格者数 0人			
中途退学 の現状	平成31年 ■中途: 進路変動 ■中退師 実践行動	4月1日時点におい 3月31日時点におい <b>退学の主な理由</b> 更のため 方止・中退者支援(	いて、在学者5名 (平成30年4 いて、在学者3名 (平成31年 のための取組 け、就学状況に応じたカウン	€3月31日 <b>卒</b>	S業者を含む)	率 40	96				
経済的支援制度	(2) SR制度・・ゲループ各学校の在校生・卒業生を家族・兄弟姉妹に持っている場合に、その紹介を受けると入学金や授業料の一部を免除。 ■専門実践教育訓練給付: 総付対象・場合・前年度の給付実績者数について任意記載 総付対象を書し ■民間の評価機関等から第三者計画: (4) 無 ※有の場合・例えば以下について任意記載										
学校評価 当該学科の ホームページ URL	(評価団体、受審年月、評価結果を掲載したホームページURL)  URL:http://n-heart-web.net/common/pdf2014/basic_info.pdf										

(留意事項) 1. 公表年月日(※1)

1. 公表サ月ロ(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空棚としてください

- した内容を公表することが来められています。初回底定の場合は、底定を受けた音ボロ以降の日刊を記入し、前回公表年月日は空機としていません。 「就職等の状況(※2) 「就職等」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意 し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査「おける就職年」の定義における定義に従います。 (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査「おける就職年」の定義について ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。 ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留 年」「資格取得」などを希望する者は含みません。 ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をい
- (3) 京職者」とは、正規の職員(雇用契約期間か1平以上の非正成の職員とし、心職のに当る自己のことをなった。 にます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就にとをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者としており、 をはしません(就職したが試職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

#### 3. 主な学修成果(※3)

3. エタチルス・ベック 歴史課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的 な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入資状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ・学外有識者、企業、業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を実施していく。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会においては、既に実施されている教育課程の編成について内容と実績についての説明を行い、それ を踏まえて企業、業界団体等の委員からは、より実践的かつ専門的な教育課程が編成できるよう意見、要請を頂く。その 場での質疑応答を行うとともに、その後の継続的な校内での検討や、必要に応じた日頃からの連携を基に、教務責任者 が中心となって定期的にカリキュラム改善等の教育課程編成につなげる。

### (3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
古田 修	新潟市こども創造センター センター長	平成30年4月1日~	(1)
#REF!		平成30年4月1日~	1
馬場 裕子		平成30年4月1日~	3
山本 ヒサ		平成30年4月1日~	
山本 秀一郎		平成30年4月1日~	
山口 昌一		平成30年4月1日~	
平澤一郎	長岡こども・医療・介護専門学校	平成30年4月1日~	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、
  - 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年7月30日 10:30~11:30

第2回 平成30年12月27日 14:30~15:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
- ・新潟市こども創造センターでの演習科目を、「地域活動実践演習」とし、普段の授業で行っている「保育実技演習皿」とは 別の科目として設定する。
- ・そのことにより、より地域での実践、総まとめの科目としての意味合いを持たせていく。
- ・3年生は来場した親子に向けての演劇を企画・実演する内容はそのままに、1・2年生はサポート役に徹し、次年度以降に自分たちが行うことを見越して学んでもらう。
- ・1年次の保育実習入門に関しても、技術よりも保育者としての基本的姿勢などについてを重視することにしていく。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
  - 一般的な養成カリキュラムに加え、地域での実情などを考慮しての養成を行う。

## (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

#### 「保育実習入門」

本実習が始まる前段階としての実習を行う。連携先企業での見学・1日実習を通して、保育士・幼稚園教諭になるための 勉強の意識付けとしての実習を行う。1日実習をしてみて主に「意欲」「子どもへの関わり」の2点で現場保育士に個別にア ドバイスを頂くと共に、評価をしてもらう。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科目概要	連携企業等
保育実習入門	本実習が始まる前段階としての実習を行う。連携先企業での見学・1日実習を通して、保育士・幼稚園教諭になるための勉強の意識付けとしての実習を行う。	学校法人華光学園 長岡和光幼 稚園 なごみ保育園

### 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
- ・教員に必要な実務上の知識、技術や指導力の向上を目的として、組織的な研修を行っていく。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本保育学会」(連携企業等: 一般社団法人 日本保育学会 )

期間:2018年 5月12日(土)~13日(日) 対象:教職員

内容:保育学生地域活動参加による学習効果についての研究発表を行う。その他にも、保育業界の近年の動向、制度などの改正点、指導法などについての最新情報を得る。

### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 新潟県私立幼稚園協会 定例会議 」(連携企業等:新潟県私立幼稚園協会 )

期間:2018年 6月14日(木) 対象:教職員

内容:県内各幼稚園の園長との会議を行う。実習の様子から就職状況についての情報交換を行い、その中でお互いの指導法方法などについてディスカッションを交わす。

#### (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「日本保育学会」(連携企業等:一般社団法人 日本保育学会)

期間:2019年 5月4日(土)~5日(日) 対象:教職員

内容:「新人保育士の考える保護者支援」についての研究発表を行う。その他にも、保育業界の近年の動向、制度などの 改正点、指導法などについての最新情報を得る。

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「 新潟県私立幼稚園協会 定例会議 」(連携企業等:新潟県私立幼稚園協会 )

期間:2019年 6月27日(木) 対象:教職員

内容:県内各幼稚園の園長との会議を行う。実習の様子から就職状況についての情報交換を行い、その中でお互いの指導法方法などについてディスカッションを交わす。また、人財確保のための第1回合同就職説明会を行う件についても打ち合わせを行う。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目を中心に評価を実施する。評価結果は公表するとともに、教育活動その他の学校運営に資するよう、校の内部での活用を図るものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念·目標	1. 教育理念・目標
(2)学校運営	2. 学校運営
(3)教育活動	3. 教育活動
	4. 教育成果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	6. 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7. 学生の募集と受入
(8)財務	8. 財務
(9)法令等の遵守	9. 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	10. 社会貢献
(11)国際交流	-
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	

## ※(10)及び(11)については任意記載。

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

企業様等よりいただいた貴重な学校関係者評価を、学内の教務部門を中心に、下記のように活用している。

- ・教務部で実施している毎月の課長会において、各関係学科への提言をフィードバックし、情報の共有と改善策等の策定 を行っている。
- ・カリキュラム等の改定や、定期的な実習報告会に反映させている。
- ・各系において、教務会を実施して、職員全体での情報の共有を図っている。
- ・又、教務部だけでなく、事務局とも情報共有し、学校全体で、提言等の浸透を図っている。
- ・委員となっていただいている企業様等を中心に、提言のフィードバック状況の説明を行っている。
- ・実習だけでなく、地域のボランティアに関しても学生に周知し、参加を呼び掛けている
- ・地域ボランティアも子どもに関するものだけではなく、障害児者支援や地域貢献に関するものにも参加している。

#### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
古田 修	新潟市こども創造センター センター長	平成30年4月1日~	企業等委員
小林 葵	長岡こども・医療・介護専門学校 こども医療保育科 卒業生	平成30年4月1日~	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

⊄ホームページ〉・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

) )

URL:http://n-heart-web.net/common/pdf/h26 hyouka school.pdf

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づき、企業等の学校関係者が連携に必要と考える学校の教育活動その他の学校運営に関する情報を継続的に提供していく。また、連携および協力に更に必要と思われる情報については、要請と必要性を鑑み慎重な判断をもって提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の特徴
(2)各学科等の教育	学科・コース紹介
(3)教職員	教職員

(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校の特徴
(5)様々な教育活動・教育環境	資格·就職実績、施設·設備紹介
(6)学生の生活支援	キャンパスライフ
(7)学生納付金・修学支援	入試・学費情報
	法人の財務状況
(9)学校評価	学校関係者評価
(10)国際連携の状況	_
(11)その他	-
※(10)及び(11)については任意記載。	
(3)情報提供方法	
(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他	<u>u</u> ( ) )
URL:http://n-heart-web.net/	

(孝	敎育	• 社	L会福祉専門課	程こども保育幼稚園科)平成30年度											
	分類	į						授:	業方		場	所	教	員	
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	業時	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			音楽I	保育の内容に沿って、こどもの音楽表現活動を援助できる基本的な演 奏技術、音楽的知識を学びます。	1年・前後	112			0		0			0	
0			保育実技演習 IA	実際の保育現場で活かせるような基本的な制作活動を中心とした演習 を行う。	1年・前後	56			0		0		0		
0			保育実技演習 I B	実際の保育現場で活かせるような基本的な身体表現活動を中心とした 演習を行う。	前後	28			0		0		0		
0			保育基礎演習 I	保育に関する課題図書を指定し、授業内ではディスカッションを行うことで、保育者として求められる知識の他に「読み」「書き」「話す」カの育成を図る。	前後	28			0		0		0		
0			スタディ スキル演習 I	課題図書がある場合は文章読解力、調査する必要があれば情報収集能力、そしてそれらを使いつつレポート課題を執筆する文章構成力が必要となる。その際に役立つように、この授業では手順を踏みながら能力を身につけ、今後のレポート執筆につながるようにしていく。	-	37			0		0		0		
0			Word演習	保育現場で求められる基本的なWord操作を学ぶ。Word検定3級の合格を 目指す。	1 年 前	28			0		0		0		
0			社会常識能力 検定	社会人として求められる最低限のマナーを身に付ける	1 年 後	28		0			0		0		
0			レポート対策	レポート作成が困難な学生のための科目である。レポートの書き方などは他科目で行っているため、実際にレポートを書いてみて、添削等を行い、自分でレポートがしっかり書けるようになることを目的とする。	-	28		0			0		0		
0			保育実習入門	本実習を始めるにあたっての導入実習して、1日観察実習を行う。実習 先は提携先の企業により実施する。事前に実習における心がけやマ ナーを指導し、実習後はこの後にある本実習に向けての指導を行う。	1年・前後	30				0		0			0
0			保育基礎実習	保育所での観察実習を中心に「保育所の役割」「保育士の職務について」「子どもの実態」を学ぶ。合わせて実際の保育にも参加し、子どもと触れ合ったり、読み聞かせや手遊びなどの実技を実践する。		84				0		0			
0				1~3年全員合同で授業を行う。異年齢の学年との交流を活かし、学年間で「学び合う」コミュニティの創造を目的とする。毎授業は学生主体の模擬保育を中心に行われ、実習後には実習報告会を行うなどし、上の学年の知識と技術を下の学年へと継承していく。		28			0		0		0		

_		1	T	1	T			r		-	_	,
0		就職実務 I	就職活動を始めるにあたっての動機づけを行う。また、就職試験対策 として、面接指導、作文指導、一般教養試験対策指導などを行ってい く。		56	С			0	С		
	0	憲法	憲法を学習することは、国民・個人の生命・自由・幸福の追求を学ぶことであり、より良き生活条件(well-being)、人間の尊厳を実現することである。すなわち、「人間」の幸福実現のために「国家」の存在の妥当性を確認する。	年	28	O			0		0	
	0	情報 リテラシーと 処理技術 I	情報技術を問題解決のために、自分で考え活用できるようになるために、コンピュータのしくみ、動作原理など基本的な考え方を学ぶ。また、情報によって社会基盤や生活環境がどのように変わってきたのか、今後社会がどのように変わっていこうとしているのかなどについて理解する。	年	14		0		0		0	
	0	健康科学	現代社会が抱える健康に関する諸問題や、食生活・身体活動・睡眠など健康に関わりの深い生活習慣が身体に及ぼす影響について解説する。また、個人や社会全体の健康に関する問題解決能力の修得を目指す。	牛	14	С			0		0	
	0	英語コミュニ ケーション	小学校における外国語活動の導入も念頭に入れ、英語の基本的知識の 復習に始まり、英語絵本の読み聞かせができるような英語力の育成を 目指す。	1 年	30	С			0		0	
	0	造形表現技術	保育現場で生かせる基本的な造形技法を学ぶとともに、グループでの 共同制作を作るなど、仲間との協力して作品を作ることも経験してい く。	1 年	56		0		0		0	
	0	児童家庭福祉	世の中には普通に過ごせない子どもがたくさんいる。虐待を受けている子ども、両親がいない子ども、障害を持っている子ども。そうした子どもが幸せに過ごしていくための方法や制度・施設などを学ぶ。	1 在	28	С			0	С		
	0	社会的養護	本講義では、家庭養護と共に社会的養護に焦点を当て、その意義や歴 史、法制度、実施体系などを中心に基礎的知識を習得する。また、こ どもの権利擁護、自立支援のあり方についても考える。		28	С			0		0	
	0	教育課程論I	主に幼稚園での教育課程の在り方や教育課程の作成方法などについて 理論を主に学んでいく。	1 年 前	28	С			0		0	
	0	発達心理学	保育における心理学の意義、発達の原理、認知機能や愛着の発達に関する諸理論について学ぶ。さらに愛着理論と併せて日本文化において重要な"甘え"についても学習し、保育実践のなかで多角的視点から子どもを理解し、見立てるための視点を養う。	牛	28	С			0		0	
	0	教職論 I	教職の意義等に関する科目として、教職の意義及び教員の職務内容(研修、服装及び身分保障等を含む)、進路選択に資する各種の機会の提供等を行うことで、教職への志向性を高める。		28	С			0		0	
	0	国語 I	言葉の成り立ちから、保育士に求められる正しい日本語の使い方について学んでいく。また、かるたなど日本古来の言葉での遊びについても学ぶ。		28	С			0		0	
	0	発達検査法	発達障害への理解と共に、心理職の行う発達検検査法の概要・手順・ 目的などについての基本的な理解を深める	1年・後	28	С			0		0	
	0	保育原理	社会的集団保育の場としての保育所保育の在り方についての基本的な 認識を得ることを目指す。保育所保育指針に基づいた保育の考え方を 実践的に示しながら、保育の歴史の概略、保育の内容と方法の基本、 現代社会における保育の課題等について論じる。		28	C			0		0	
	0	教育心理学	学習(学び)、動機づけ、記憶のメカニズムに関する基礎的な心理学の 理論を学ぶ。特に保育実践における汎用性が高いと思われる学習理論 と動機づけについては、具体的な場面を挙げながら重点的に学習す る。	牛	14		0		0		0	

		1		_		 		_			
	0	保育内容総論	保育内容 5 領域を横断的に学ぶ。子どもへの指導法についての基本的な知識を身に付ける。	1 年 後	14	С	)	0			0
	0	保育内容(言葉)	絵本の読み聞かせ、紙芝居の基本的な演じ方、パネルシアターの技法・演じ方、他にも様々なお話や「言葉」の領域に関わる技術を、全齢や場面、規模に応じて選書・選定・作成できるようになるための写演と講義。	牛	14	С		0			0
	0	情報 リテラシーと 処理技術 II	情報技術を問題解決のために、自分で考え活用できるようになるために、コンピュータのしくみ、動作原理など基本的な考え方を学ぶ。*に演習を通して。基本的なソフトの使い方をマスターする。	1 年 前	14	С	1	0			0
	0	スポーツ (実技)	各種のスポーツを仲間とともに体験し、技能の上達を図るとともにスポーツをすることの楽しさを味わう。自己の体力・健康の保持増進を図るとともに各スポーツの指導法を学ぶ。		14		0		0		0
	0	こどもと リズム表現 I	保育内容 (表現) に関する内容のうち、音楽を使っての表現方法を学ぶ。具体的にはリトミックなど、実際に身体を動かす表現方法による、保育内容の会得を目的とする。	1年・後	14	С	)	0			0
	0	こどもと造形 II	図画工作や造形表現施術で習得した基本的な造形技術を踏まえ、実際 の保育場面でどのように子どもへの造形指導を行っていくかについて、演習を交えて学んでいく。	1年・後	14	С					0
	0	図画工作	幼児造形の指導援助者として形態や色彩などの造形の基本的な理論を 学ぶ。それらをふ前ながらテーマをもとに「描く」「つくる」など動作の実際を学び、合わせて幼児が実際に使う教材、用具や描画材について体験的に理解する。	単年	14	С		0			0
	0	教育心理学Ⅱ	教育や人の発達について心理学的に理解していく学問である。ここで学んだことを活かすために、教育における人の心の動きを学ぶことを ねらいとする。	1 年 後	14	С	ı	0			
	0	保育内容(健 康 I )	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「健康」は、子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うことを目標としている。これらの内容について学習し、保育者が行う援助や関わり、子どもの発達援助に必要な知識と技能を習得する。	:  牛	14	С		0			0
	0	保育内容(人 間関係 I)	こどもの自立心を育て、人とかかわる力を養うためには、どのような援助が有効なのかを具体的に検討する。また、人間関係の発達的側面だけでなく、幼稚園教育要領や保育所保育指針の変遷をたどりながら幼児教育の今日的課題についても考える。	11 年	14	С		0			0
	0	保育内容(環 境 I)	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「環境」から、自然・ 人的・物的・社会的環境の持つ役割や意味を理解するとともに、子と もの発達と豊かな環境のかかわりについて実践的な学びの習得を図り ます。	1年・後	14	С		0			0
	0	こどもと 音楽表現 I (ピアノ)	保育内容(表現)に関する内容のうち、ピアノの演奏技術に関する内容を取り扱う。第1教程では、ピアノの基本的スキルの獲得を目指していく。	1 年 後	14	С		0			0
	0	教育実習事 前・事後指導 (幼稚園)	幼稚園での実習に挑むにあたっての事前の知識や技術を修得する。**に指導案作成など、子どもの前に立っての部分実習などが行えるように演習なども織り交ぜて行う。	後	14	С		0			0
0		音楽Ⅱ	保育の内容に沿って、こどもの音楽表現活動を援助できる応用的な深 奏技術、音楽的知識を学びます。	前後	112	С		0			0
0		保育実技演習 II A	実際の保育現場で活かせるような応用的な制作活動を中心とした演習を行う。	2年•前後	56	С		0		0	

0		保育実技演習 Ⅱ B	実際の保育現場で活かせるような応用的な身体表現活動を中心とした 演習を行う。	2年・前後	28		0		0	0		
0		保育基礎演習 II	保育に関する課題図書を指定し、授業内ではディスカッションを行う ことで、保育者として求められる知識の他に「読み」「書き」「話 す」力の育成を図る。最終的には自ら課題を発見できるように授業を 展開する。	前後	28		0		0	0		
0		就職実務ⅡA	主に就職面接を想定し、模擬面接を行っていく。また、お互いに面接官役、受験者役に分かれ、ロールプレイを交えながら実際の面接に備えていく。	前後	30	С		,	0	0		
0		就職実務ⅡB	昨年度に実施した一般教養に関する知識の定着をはかるよう、日々小 テストを行う。それと並行し、就職試験での作文・面接対策も行う。 後半は、就職後の意識づけを中心に行っていく。	· 前 後	30	С			0	0		
0		レポート対策	レポート作成の技術などを演習を通して具体的に行う。	2 年 ・ 前 後	48		0		0	0		
0		卒業研究指導	これまでの学びの中で疑問に思ったこと、深めたいと思ったことを研究という形でまとめる授業である。論文の作法から調べ方までを行い、最後は発表会を行う。	* 後	35		0	,	0	0		
0		保育専門演習	卒業研究に備えての構想発表を毎週行うことで、各自の卒業研究の構 想を作り上げていく。	• 前	23		0			0		
	0	医療保育特講 A	保育の現場における「死生観」を具体的事例や理論を通して学んでい く。	· 後	15		0		0		0	
	0	医療保育特講 B	保育の現場で特に医療的ケアが必要な子どもに焦点を当てる。病気の子どもの心理や支援方法、病気の子どもを支える家族や専門職に就いて学び、病気の子どもへの保育士としての支援方法を考えていく。	• 後	15		0		0		0	
	0	こどもの保健 検定	2年次までのこどもの保健の授業内容を踏まえて、より実践的な保健の 知識を得る。「こどもの保健検定3級」の合格を目指す。	• 前	14		0		0		0	
	0	紙芝居 実技演習	舞台と拍子木を用いた、伝統的な紙芝居の技法を学ぶことを目的とする。多くの紙芝居に触れることはもちろんのこと、学生自身が演じる中で、自ら紙芝居技法を獲得していく。	· 前 後	52		0		0		0	
0		保育総合演習	1~3年全員合同で授業を行う。異年齢の学年との交流を活かし、学年間で「学び合う」コミュニティの創造を目的とする。毎授業は学生主体の模擬保育を中心に行われ、実習後には実習報告会を行うなどし、上の学年の知識と技術を下の学年へと継承していく。	前後	52		0			0		
	0	保育・教職実 践演習 I	教職に就くにあたり、教職としての心構え、クラス運営の方法などに ついて演習を踏まえて学んでいく。	· 前	23		0			0		
	0	社会福祉論	本講義では、社会福祉の理念や制度の歴史的な変遷を整理し、社会福祉の実施体制について理解する。その上で、現代社会における課題をもとに、これからの社会福祉と私たちの生活について考える。	· 前	28	С			0	0		
	0	こどもと体育 I	こどもの心身の発達特性を十分に理解し、教育者・保育者として必要な体育に関する基礎的知識及び技能を学習し、幼児の健全な身体発達 を促すための指導方法を学ぶ。	2 年 · 前	14	С	)		0		0	

0	こどもの保健 I	生命の保持と情緒の安定を図る保育における小児の健康の意味を認識し、保育実践における保健活動の重要性を認識する。具体的な内容として子どもの身体発育・生理機能・運動機能並びに精神機能の発達について理解を深める。	年	28	0			0				
0	教育課程論	「何を教えるか」という教育の中身や内容を組織立てたものを教育課程と呼びます。教育課程は学習者の実態や社会的状況に合わせて、名機関で編成されるものです。そこでこの授業では教育課程の原理や制度、歴史的変遷を学びつつ、教育課程を編成する力を身につけ、見通しをもった教育・保育を実践する力を身につけます。	年	28	0			0		0		
0	教育相談	単なる知識の吸収ではなく、実際に教育現場で活用できるような技術や心構えを身につける。この授業では、教育相談およびカウンセリングの意義、目的、理論背景、技法などについての理解を十分に深めた上で、発達年齢によって異なる、典型的な心理的問題についての理解と、心理的援助の実際について、具体的に検討する。	年	28	0			0			0	
0	こどもの 食と栄養 I	健全な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を学び、子どもの発達・発育と食生活の関連について理解を深める。食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。	牛	14		0		0			0	
0	障害児保育I	近年、保育所・幼稚園においても統合保育が盛んとなってきたため、 障害児系児童福祉施設で働く保育士だけでなく、すべての保育者が障 害児に対する支援を学ぶ必要がある。必要な知識について教授する。	2 年 · 前	14		0		0			0	
0	乳幼児保育I	乳幼児保育を子どもの発達の視点からとらえ、その現状と課題について学ぶ。絵本などの言語文化財を使い、乳幼児保育の実践を通じよりよい保育をともに考える。		14		0		0			0	
0	教育実習 (1回目)	保育者の指導のもと、現実の幼稚園現場における幼児との直接的なかかわりを通じて、保育者となるための実践上、研究上の基礎的な能力、態度を養成する。前半では特に部分実習を行うことが中心となる。	年	70			0		0	0		
0	教育実習 (2回目)	保育者の指導のもと、現実の幼稚園現場における幼児との直接的なかかわりを通じて、保育者となるための実践上、研究上の基礎的な能力、態度を養成する。同時に保育者としての使命感、さまざまな保育を通した実践的指導力の基礎を体得し、保育の実践上の課題を解決していく上で必要とされる資質・能力を培う。	年	70			0		0	0		
0	相談援助	本科目は社会福祉士の身につけるスキルである「援助技術(相談援助)」を習得することを目的としている。この技術の実践例としては、保護者との面談場面が主となる。入園時の保護者面接・子育て支援相談・虐待の予防や早期発見・障害児を持つ親への支援など応用場面は幅広い。	年	14		0		0		0		
0	こどもと健康	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「健康」は、子どもの健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養うことを目標としている。これらの内容について学習し、保育者が行う援助や関わり、子どもの発達援助に必要な知識と技能を習得する。	年	14		0		0			0	

0	こどもと環境	幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域「環境」から、自然・ 人的・物的・社会的環境の持つ役割や意味を理解するとともに、子ど もの発達と豊かな環境のかかわりについて実践的な学びの習得を図り ます。	2 年 · 前	14		0		0			0
0	こどもと体育 II	運動・スポーツの教育的可能性、こどもの発達、体育科のこれまでの 変遷について理解を深める。さらに模擬授業を行い、計画・実践・評価することを通して実践的力量を高める。	2 年 · 前	14		0			0		0
0	こどもと 音楽表現 第2教程	保育内容 (表現) に関する内容のうち、ピアノの演奏技術に関する内容を取り扱う。第1教程では、ピアノの基本的スキルの獲得を目指していく。		10		0		0			0
0	こどもと造形 表現 Ⅱ	子どもへの造形指導について、演習を通して学ぶ。特に5領域表現に 関連しての指導方法を身に付ける。	2 年 · 前	14		0		0			0
0	こどもの 食と栄養 II	健全な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基礎的知識を学び、子どもの発達・発育と食生活の関連について理解を深める。食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会・文化とのかかわりの中で理解する。	年	14		0		0			0
0	障害児保育Ⅱ	近年、保育所・幼稚園においても統合保育が盛んとなってきたため、 障害児系児童福祉施設で働く保育士だけでなく、すべての保育者が障 害児に対する支援を学ぶ必要がある。必要な知識について教授する。	2 年 · 前	14		0		0			0
0	乳幼児保育Ⅱ	乳幼児保育を子どもの発達の視点からとらえ、その現状と課題について学ぶ。絵本などの言語文化財を使い、乳幼児保育の実践を通じよりよい保育をともに考える。	2 年 · 後	14		0		0			0
0	社会的養護内容	本講義では、事例を通して社会的養護・施設養護の実際について理解を深めると共に、支援のあり方・計画について検討する。また、権利擁護、自立支援についてより具体的に検討し理解を深めると共に、被措置児童等虐待(施設内虐待)の問題などから教育者・保育者の倫理についても学ぶ。	年	14		0		0			0
0	保育相談支援	保育現場における、子育て支援の方法について、ソーシャルワークのスキルを応用しての方法について学ぶ。特に具体的な場面を設定し、ロールブレイなども交えて、体験しながら学びを深めていく。	2 年 · 後	14		0		0		0	
0	こどもの保健 II	集団においての健全な成長・発育を促すために必要な環境・衛生管理・安全管理について理解する。また、感染症を中心とした疾病について、その予防法および適切な対応について理解を深める。	2年・後	14	0			0			
0	保育・教職実 践演習 II	既に学んできた教員としての資質能力がどの程度形成されているかを確認し、自己の課題を自覚し、その克服と習得に努めます。さらに、教職生活を円滑にスタートできるよう、学校現場の視点を取り入れながら、保育者としての使命感・責任感のある実践的指導力の獲得を図ります。	年	14		0					0
0	こどもと音楽 表現(第3教 程)	保育現場に出ていくに当たっての音楽スキルについて身に付けていく。ピアノ演奏技術に加え、声楽についても再度総合的に演習を行っていく。	2 年 · 後	10		0		0			0
	合計	78	科	·目			216	62		E	诗間

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件:出席率90%以上、成績評価C評価以上。検定取得2つ以上。	1 学年の学期区分	2期
履修方法:上記授業の出席状況、評価試験および該当検定結果による。	1 学期の授業期間    1	8週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

#### 職業実践専門課程の基本情報について

7741 Y		1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				≡r += yd:								
学校名 長岡こども・医療	5.介誰	設置認可年月		<b>∓</b> 940−	0047	所在地								
専門学校	\$	平成25年1月8		新潟県	長岡市弓町1-8-3 (電話)0258-3	14 5-1600								
設置者名		設立認可年月	日 代表者名			所在地								
学校法人 新潟総合学	院	平成7年3月24		191711971		屈通一番町494番地3 0-8565								
分野		定課程名	Ē	忍定学科名		専門士		高度	<b>E専門士</b>					
教育·社会福祉	教育·ネ	社会福祉専門課 程	1	个護福祉科		平成26年文部科学省· 第6号	告示		-					
学科の目的	る人材を	育成することをもっ	、商業実践課程、教育・ て、社会に貢献し得る人			野の専門知識を教授し、高	高度な	専門知識・技術	及び倫理観を有す					
認定年月日	平成27年	2月17日 全課程の修了に必要な												
修業年限	昼夜	総授業時数又は総単位 数	講義	a	演習	実習		実験	実技					
2 年	昼	2118時間	1260時間	1]	300時間	558時間	l	0 時間	0時間 単位時間					
生徒総定	Ą	生徒実員	留学生数(生徒実)	員の内 耳	厚任教員数	兼任教員数		総	教員数					
80人		15人	0人		3人	4人			7人					
学期制度		■前期:4月1日~9月30日 ■2学期:10月1日~3月31日 ■学年始:4月1日~4月8日 ■夏 季:7月23日~8月19日 ■冬 季:12月22日~1月9日 ■学年末:2月26日~3月31日				■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 基準:A~Dの4段階 方法:レポート、期末試験、出席率、授業の取り組み状況が ど総合評価								
長期休み	■夏 <sup>2</sup> ■冬 <sup>2</sup>					出席率90%以上 成績評価C判定以上 卒業基準検定を全て取	7得							
学修支援等	■個別村 個別ガイ	担任制: 目談・指導等の対応 イダンスの実施、補 ルによる相談の受	習授業の実		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボラン・ 施設行事等でのボラン	ティア等	活動						
	高齢者店 ■就職打	就職先、業界等(平施設、障害者施設: 施設、障害者施設: は導内容	成30年度卒業生)等			サークル活動: 有 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成30年度年業者に関する令和1年5月1日時点の情 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 の経緯短地・日東京財								
	導、情報	<b>発活用方法の指導</b>	、就職筆記試験対策、			介護福祉士国家試 験受験資格	2	3人	3人					
	董华来1	日奴 市主日奴	3	<u> </u>	-	介護事務管理士	3	3人	1人					
	■就職a		3	人	-	Word検定 Excel検定	3	3人	1人					
	:		3	人		EXOCITE Z	•	- 0/1	17					
就職等の 状況※2		音に占める就職者の :	100 割合 100	%	主な学修成果 (資格・検定等) ※3									
	■そのff ・進学者数		0人			②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)								
						■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等								
	(平成	30 年度卒業 令和1年5月1日												
	■中途ù	<b>退学者</b>		0 名	■中退	率 0	%							
中途退学	平成31年 ■ <b>中途</b> i		で、在学者10名(平成 いて、在学者10名(平											
の現状	無し		- / ./ /-											
		防止・中退者支援の 兄に応じた面接、例	のための取組 R護者との情報共有に	基づく連携										
	※有の場	虫自の奨学金・授 合、制度内容を記入		有	6T 175 494 dod	4月15条例 4月 - 17 - 47 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17	100	n .611 7 24 A	- m 45 44 44					
経済的支援 制度														
第三者による 学校評価	※有の場	の評価機関等から 合、例えば以下につし 本、受審年月、評価結		無たホームページし	JRL)									
当該学科の ホームページ URL	http://n-	-heart-web.net/												
(知音車項)														

#### (留意事項)

- (国思事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください
- 2. 就職等の状況(※2)
- 2. 就職等の状況(※2) 「就職等の状況(※2) 「就職等の投いで乗者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知) (25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職年」の定義について(①「京就職年」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。(②「京就職者望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
  ③「京就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。
  ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。
  (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
  ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
  ②「京城は、全年業者をの地経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしたが就職たが就職先が不明の者は就職者として扱う)。とをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはもため、就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

3. 主な学修成果(※3) 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

・学外有識者、企業、業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を実施していく。

### (2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会においては、既に実施されている教育課程の編成について内容と実績についての説明を行い、それ を踏まえて企業、業界団体等の委員からは、より実践的かつ専門的な教育課程が編成できるよう意見、要請を頂く。その 場での質疑応答を行うとともに、その後の継続的な校内での検討や、必要に応じた日頃からの連携を基に、教務責任者 が中心となって定期的にカリキュラム改善等の教育課程編成につなげる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
石崎 昂一	日本認知症グループホーム協会	平成31年4月1日~	1
高頭 真悟	社会福祉法人 信濃川令終会  特別養護老人ホーム岡南の郷 事務長	平成30年4月1日~	3
山本 ヒサ	長岡こども・医療・介護専門学校 校長	平成27年4月1日~	
山本 秀一郎	長岡こども・医療・介護専門学校 副校長	平成30年4月1日~	
小池 利春	長岡こども・医療・介護専門学校 就職室長	平成29年6月1日~	
山口 昌一	長岡こども・医療・介護専門学校 教務部長	平成30年4月1日~	
野川 みどり	長岡こども・医療・介護専門学校	平成31年4月1日~	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (5月、11月)

(開催日時(実績))

第1回 平成30年5月21日 14:30~15:00 第2回 平成30年11月5日 14:00~14:30

### (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

教育課程編成委員会での助言を受けて、求められる教育内容として、マナー、礼儀、挨拶、言葉使い等について日常の学 校生活で指導を行った。また実習前の指導でマナー、礼儀、言葉使いについての指導を今まで以上に行った。 施設との連携として、施設職員の方からの講義、演習については今後の授業計画に組み込んでいく予定とした。

- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

介護現場で働くためには知識を修得するだけでなく実践力を身に付ける事が重要となる。介護実習に向けた準備として、施設側の立場から、必要な心構えや、介護の基本、必要な知識、介護の現場で実際に行っていることを指導して頂くとともに、それらの実践的な内容を校内での授業実施にもつなげていく。また仕事への姿勢を学ぶ機会ともしていく。

#### (2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

介護現場で実際に必要となる知識や技術について現場職員より指導を受け評価とアドバイスをいただく。また、それを踏まえて授業や実習に参加し、卒年次に実施する実習報告会(介護過程)での発表内容についても評価とアドバイスを頂く。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
介護総合演習(1)	施設の概要や介護福祉士の業務、役割、業務について具 体的に学ぶ	社会福祉法人 信濃川令終会

## 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

# (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

・教員に必要な実務上の知識、技術や指導力の向上を目的として、組織的な研修を行っていく。

研修に関しては、専攻分野における実務に関するもの、指導力向上に関するもの、諸法規・諸規定に関するもの、その他一般的な知識や情報に関するものなどとし、上長からの指示または本人から申出により各職員最低年1回の機会を確保するものとして、年度当初の教務会において指示する。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名 関東甲信越ブロック教員研修会「これからの介護福祉士への期待と専門養成教育の責務」

期間:平成30年9月13日(木) 対象: 教職員

内容:「国家試験対策の現状と課題」養成校の学生の国家試験対策について各学校からの報告

#### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名 全国教員研修会「介護福祉士教育の本質をさぐる」

期間:平成30年11月28日(水)・29日(木)・30日(金) 対象: 教職員

内容:「多様な学生への教育上の支援のあり方」講師による公演、グループワークでの討論(実際の現状等、対応方法など)

## (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名関東甲信越ブロック教員研修会「専門性を活かした介護」

期間:令和1年9月20日(金) 対象:教職員

内容:「養成校に求められる介護福祉士像」それぞれの立場からの発表を受けデスカッションを行う

### ②指導力の修得・向上のための研修等

研修名 全国教員研修会「未来を創る次世代教育」

期間:令和1年10月24日(木)10月25日(金) 対象:教職員

内容:「未来社会で問われる介護福祉士養成教育」ワークショップ、「卒業生支援」分科会に参加介護福祉士として送り出 した卒業生の支援についての学ぶ 4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目を中心に評価 を実施する。評価結果は公表するとともに、教育活動その他の学校運営に資するよう、校の内部での活用を図るものとす る。

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念•目標	1. 教育理念・目標
(2)学校運営	2. 学校運営
(3)教育活動	3. 教育活動
(4)学修成果	4. 教育成果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	6. 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7. 学生の募集と受入
(8)財務	8. 財務
(9)法令等の遵守	9. 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	10. 社会貢献
(11)国際交流	-

<sup>※(10)</sup>及び(11)については任意記載。

#### (3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価結果は教務部門を中心に、下記のように活用している。

良いとされた部分は更に伸ばし、問題点が指摘された部分については早期改善が為されるよう、学校職員全体にフィードバックし、情報共有と改善策等の策定を行っている。また、教務責任者を中心にカリキュラムへの反映を図れるよう検討を行うとともに、教務部だけでなく、事務局とも情報共有し、学校全体で提言の浸透と実現を図っている。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
高頭 真悟	社会福祉法人 信濃川令終会	平成27年4月1日~	企業等委 員
小林 葵	卒業生	平成27年4月1日~	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(本一ムページ・広報誌等の刊行物・その他(

))

URL: http://n-heart-web.net/openinfo.html

公表時期:令和1年9月28日

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づき、企業等の学校関係者が連携に必要と考える学校の教育活動その他の学校運営に関する情報を継続的に提供していく。また、連携および協力に更に必要と思われる情報については、要請と必要性を鑑み慎重な判断をもって提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

学校が設定する項目
学校の特徴
学科・コース紹介
教職員
学校の特徴
資格·就職実績、施設·設備紹介
キャンパスライフ
入試·学費情報
法人の財務状況
学校関係者評価
-
_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

			上会福祉専門課	程 介護福祉科)											
	分類	[						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数	講	演習	実験・実習・実技		校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			人間と尊厳の 自立	介護の前提として、先ず「人間」とは何か、その存在の 意味を考える。そのうえで、人間の尊厳および人権尊重 の重要性について考える、また、介護専門職にとっての 自立支援のあり方について学ぶ。	年	30		0			0			0	
0			人間関係とコ ミュニケー ション	介護福祉士に求められる利用者との関係づくりのあり方 や方法について学ぶ。そのために必要となるコミュニ ケーション技法の実際について学ぶ。	1 年 · 前	30		0			0			0	
0			社会と制度の 理解	介護業務に携わるうえで、わが国の社会状況や生活の現状について学ぶとともに、社会保障制度の全体像と個別制度としての「介護保険制度」や「障害者自立支援制度」の概要について学ぶ。さらに、関連する制度として、個人の権利を守る制度や仕組み、保健医療に関する諸施策の概要について学ぶ。	1年・前後	60		0			0			0	
	0		介護事務管理 士技能認定試 験対策	居宅介護支援事業所や居宅サービス事業所及び介護保険施設等において即戦力として働ける実務レベルの実力を身につけるように学習を進める	2 年 · 前後	60		0	0		0		0		
	0		情報化社会	PCを使って、ワード、エクセルの基本的な技術の修得、 ネットワークの使い方を講義する	1年 前期	60		0			0			0	
0			介護の基本Ⅰ	生活とは何かを、自らの課題として考察する。そのような状態、場所においても守られるべき、人間の権利としての福祉、介護への視点を持てるよう学習をすすめる。	1 年 · 前後	60		0			0		0		
0			介護の基本Ⅱ - (1)	多様、複雑、高度な介護課題に対応できる専門職として の社会的役割をグループ討議や働く介護福祉士の姿を通 し学び、その役割を理解する。	1年•前後	60		0			0		0		
0			介護の基本 II - (2)	介護福祉士の専門性と介護従事者の倫理を考察する。さらに、利用者、高齢者の生活について、安全の確保とリスクマネジメントについて考察し、専門職としての介護 観を確立する。	2 年 前後	60		0			0		0		
0			コミュニケー ショ ン 技 術 (1)	コミュニケーションに関する基本的な考え方を理解すると共に、接し方や信頼関係について学びます。またチームにおけるコミュニケーション能力を身につけます。	1 年 · 前	30		0			0		0		

(孝	敎育	• 社	会福祉専門課	程 介護福祉科)											
	分類	į						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授 業 時 数	単位数		演習	実 習		校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			コミュニケー ション技術 (2)	聴覚障害者、視覚障害者、言語障害・失語症、知的障害者、精神障害者の基礎的な知識を習得し、利用者の状況や状態に応じ、どのようにコミュニケーションを取れるのかを学ぶ。 また、介護における記録・連絡についての意義・目的等を一緒に学ぶ。	1 年 · 後	30		0			0		0		
0			生活支援技術 I - (1)	レクリエーションとは何か、なぜ必要なのかを考察し、 様々な対象者に対して社会福祉サービスの視点から、事 前評価、計画、実施、事後評価の具体的な方法を学ぶ。	1 年 · 前	40		0			0			0	
0			生活支援技術 I-(2)	高齢者が容態急変時に、「まず何をすればいいのか?」「してはいけないことは何か」適切な行動がとれるように、生活支援における知識、技術を学ぶ。 災害時におけるネットワークシステム事例等を最近の災害から学ぶ。	1 年 後	30		0			0			0	
0			生活支援技術 Ⅱ- (1)	利用者を科学的根拠に基づき、個々の心身状態に応じた 適切な介護の知識技術を講義・グループワーク・演習を 通して学ぶ。	1年•前	60			0		0		0		
0			生活支援技術 Ⅱ- (2)	利用者を科学的根拠に基づき、個々の心身状態に応じた 適切な介護の知識技術を講義・グループワーク・演習を 通して学ぶ。	1 年 · 後	30			0		0		0		
0			生活支援技術 Ⅱ- (3)	学んできた知識技術、1年で学んだ技術を統合し、さらに 実践的技術を講義・グループワーク・演習を通して学 ぶ。	2 年 · 前	60		0			0		0		
0			生活支援技術 Ⅲ- (1)	食事、衣服に関する技能を講義、グループワーク、実習 を通して具体的な生活支援方法を学ぶ。	1 年 後	30		0			0			0	
0			生活支援技術 Ⅲ- (2)	現在までの学習を踏まえて、機能低下のある方の自立に 向けた生活支援方法をグループワークや演習を通して学 ぶ。	2 年 · 前	60		0			0		0		
0			生活支援技術 Ⅲ- (3)	要介護者の心身機能を理解し、グループワークやレポート、演習等を通して介護実践における考え方や視点を学ぶ	2 年 · 後	30		0			0		0		

(孝	(教育·社会福祉専門課程 介護福祉科)														
	分類	į						授:	業方	法	場	所	教	員	
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	業時	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外			企業等との連携
0			介護過程 I	介護の支援対象が誰であり、どのような場面であって も、その人の生活課題を理解し、目標を設定し、求めら れる支援を導く思考方法を理解する。		30		0			0		0		
0			介護過程Ⅱ	事例を通し、個々の介護ニーズの捉え方を学ぶ。さらにアセスメント、計画書の作成の演習を行う。また、介護実習 I の体験を踏まえ、介護過程の実践的展開を理解する。利用者の自立(自律)に向けた、利用者の状態・状況に応じた介護過程の理論を確認する。	年	60			0		0		0		
0			介護過程Ⅲ	介護実習IIの体験を踏まえ、介護過程の実践的展開を理解する。利用者の自立(律)にむけた、利用者の状態・状況に応じた介護過程の理論を確認する。	2 年 · 後	60		0			0		0		
0			介護総合演習 (1)	介護実習への導入が円滑に行え、実習で効果的な学びが 出来るために必要な知識・技術態度について学ぶ。	1 年 · 前	30			0		0		0		0
0			介護総合演習 (2)	介護専門職としての人間的なかかわりを深めるための、コミュニケーション能力や、実習生としての知識・具術を習得すると共に、専門職としての自覚を高める。	1年・後	30			0		0		0		
0			介護総合演習 (3)	個別ケアにおける介護計画の立案に関する基本的技術を 習得するため、介護過程の授業との連携を通した事例研 究・演習を行う。		30			0		0	0	0		
0			介護総合演習 (4)	介護福祉士に求められる知識・技術・人間性を包括的に理解できる。介護サービスにおける論理的思考や説明責任の能力を習得する。介護実習全体を通しての総括として、各学生が自分のテーマに沿った卒業論文をまとめる。その過程を通し、介護福祉士としての自覚を高める。	年	30			0		0		0		
0			介護実習 I (1段階)	実習期間中は、常に利用者との関わり・触れ合いを心が ける。そのうえで、利用者が生活する介護施設がどのよ うな場であるか、その役割や基本的な介護技術などを学 ぶ。	年	45				0		0	0		
0			介護実習 I (2段階)	利用者への観察や関わり、コミュニケーションを第一に して利用者理解に努める。併せて、介護職員の役割につ いて、観察や助言を受けながら実際に体験し学ぶ。	1 年 · 前	90				0		0	0		

(孝	資	• 社	会福祉専門課	程 介護福祉科)											
	分類	į						授	業方	法	場	所	教	員	
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期		単位数	攜	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
0			障害の理解Ⅱ	「障害の理解 I 」で学んだ障害のある人の基礎的知識をもとに、障害のある人への個別支援や家族への支援、多職種や地域との連携について学ぶ	2 年 · 前	30		0			0		0		
0			こころとから だのしくみ I	「健康」とは何か、「健康」な状態の人間のこころとか らだのしくみを学ぶ	1 年 · 前	60		0			0		0		
0			こころとから だのしくみⅡ	「健康・健常な人間のこころとからだ」の状態を学び、 そこに病気や加齢、障害による「心身の機能低下が及ぼ す影響」を同時に学ぶ	1年・前後	60		0			0		0		
0			喀痰吸引及び 経管栄養の基 本	喀痰吸引と経管栄養にはさまざまな種類や手順があり、 対象者一人ひとりの状態に合った個別な種類や手法が必 要であることを学ぶ。また急変時の対応についても学 び、介護の現場で自信を持ってこれらの行為を実践する ための教養を身につける	2 年 · 前	50		0			0		0		
0			喀痰吸引及び 経管栄養の演 習	吸引用人体型シュミレータや呼吸音聴診シュミレータ、 経管栄養のシュミレータ器具セット等を用いて、吸引や 経管栄養を施行する前・中・後の観察点や手法を実践す る。	2 年 · 前	20			0		0		0		
	0		就職実務 I	介護福祉士として、能力や労力を他人のために役立てる モチベーションを持ち続けることの大切さを身につけ る。 社会のルール・社会のマナーの重要性を身につける。	1 年 · 後	30		0			0		0		
	0		就職実務Ⅱ	介護福祉士として、能力や労力を他人のために役立てる モチベーションを持ち続けることの大切さを身につけ る。 社会のルール・社会のマナーの重要性を身につける。	2 年 · 前後	100		0			0		0		
合計 43 科目 2118時											寺間				

卒業要件及び履修方法	授業期間等
卒業要件:出席率90%以上、成績評価 C 評価以上。	1 学年の学期区分 2期
履修方法:上記授業の出席状況、評価試験および該当検定結果による。	1 学期の授業期間 21週

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

#### 職業実践専門課程の基本情報について

WIT 5		1 乳型部サケリ		<i>a</i>			=r ++ 1.t.				
学校名 長岡こども・医療	. 企業主	設置認可年月			〒940-0	047	所在地				
長両ことも・医療門学校	- 川護等	平成25年1月8	日 山本 は	≐サ	新潟県長	長岡市弓町1-8-3 (電話)0258-35	4 5–1600				
設置者名		設立認可年月	日 代表者	名			所在地				
学校法人		平成7年3月24	日 池田 ネ		〒951-8 新潟県第		屈通一番町494番地3				
新潟総合学 分野		定課程名		認定学		(電話) 025-210	屈通一番町494番地3 )−8565 ┃ 専門士	1	高度専門士		
							平成26年文部科学省		司及守门工		
商業実務	商業!	実務専門課程		医療ビジ	ネス科		告示第6号		-		
学科の目的	倫理観を	有する人材を育成	、商業実務関係、教 することをもって、社				、各分野の専門知識・技術を 目的とする。	を教授し、高度な	・専門知識・打	技術及び	
認定年月日		2月17日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位	2月17日 全課程の修了に必要な				_	-11			
修業年限	昼夜	数	講			演習	実習	実験		技	
2 年	昼間	1,900	11	65		430	305	0		<ul><li>単位時間</li></ul>	
生徒総定	Į	生徒実員	留学生数(生	徒実員の内	専	任教員数	兼任教員数		総教員数		
50人		14人	0人			4人	5人		9人		
学期制度		]:4月1日~9月3 ]:10月1日~3月 ]:-				成績評価	■成績表: 本 ■成績評価の基準・方法 基準:A~Dの4段階 方法:検定結果、授業態/		、期末試験等	等の総合	
長期休み	■夏季: ■冬季:	台:4月9日 7月30日~8月16Ⅰ 12月24日~1月9Ⅰ 末:2月22日				卒業·進級 条件	出席率90%以上 成績評価C以上 卒業基準検定を全て取得	Ť			
学修支援等	■個別村 個別ガイ 施、メー	目談・指導等の対バイダンスの実施、補 ルによる相談の受	習授業の実			課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボララ 長岡市イベントのボランラ	・イア			
就職等の 状況※2	病院、下では、		所、調剤薬局 Rセミナー開催、ビジ 筆記試験対策、面接 10 10 9 90 割合 90	表試験対策等 -	指導、	主な学修成果 (資格・検定等) ※3	資格·検定名  -	平業者に関する令4 理 受験者数 3 10 3 10 3 10 ##	和1年5月1日時,		
中途退学 の現状	平成31年 ■中途 ■中退版 実践行動:	54月1日時点におい 53月31日時点におい 見学の主な理由 方止・中退者支援の 学による動機づけ、家	学状況に応じたカウン	(平成31年:	月1日入 <sup>2</sup> 3月31日 <sup>2</sup> 保護者との	卒業生を含む)		6			
経済的支援制度	※有の場 (1)特待生 級入学金 (2)SR制 ※給付対象 ■民間の	5万円授業料82万円) 度・・・グループ各学校で 実践教育訓練給付象の場合、前年度の第 者無し ひ評価機関等から	筆記による審査で認定 ) の在校生・卒業生を家 : 給付対 合付実績者数について 第三者評価:	族·兄弟姉妹 陳·非給付え	り減免(Dá 未に持って		&授業料15万円、B級授業料20 介を受けると入学金や授業料 <i>0</i>		5万円授業料4	40万円、S	
第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ URL	http://n-heart-web.net/openinfo.html										

(留意事項) 1. 公表年月日(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- した内容を公表することが水のられています。初回認定の場合は、認定を受けた音が市以降の日付を配入し、削回公表半月日は全機としてください
  2. 就職等の状況(※2)
  「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。
  (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における股票をでして
  (「「対職率」別で表について
  (「対職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における股票者教を就職希望者で除したものをいいます。
  ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
  ③「試職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいます。

- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非止及の職員にした。例のに旨を自むたしては、これでは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の事業の見込みのない者、休学中の者等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者学生、禁講生、科目等覆修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について
  ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者能数の占める割合をいいます。
  ②「京献職とは裁料、資金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就にくこをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
  (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3) 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と 同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト人質状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

学外有識者、企業、業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を実施していく。

- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会においては、既に実施されている教育課程の編成について内容と実績についての説明を行い、それ を踏まえて企業、業界団体等の委員からは、より実践的かつ専門的な教育課程が編成できるよう意見、要請を頂く。その 場での質疑応答を行うとともに、その後の継続的な校内での検討や、必要に応じた日頃からの連携を基に、教務責任者 が中心となって定期的にカリキュラム改善等の教育課程編成につなげる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
亀山 智弘	汎日本海循環器病研究会 事務局長	平成26年10月23日~	1
大原 恒二	社会福祉法人 信濃川令終会 理事	平成26年4月1日~	3
山之内 勝	医療法人 誠心会 吉田病院	平成26年4月1日~	3
山本 秀一郎	長岡こども・医療・介護専門学校	平成30年4月1日~	
山口 晶一	長岡こども・医療・介護専門学校	平成30年4月1日~	
小池 利春	長岡こども・医療・介護専門学校	平成29年6月1日~	
長谷川 佳奈子	長岡こども・医療・介護専門学校	平成26年4月1日~	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回

(開催日時(実績))

第1回 平成30年4月11日 13:00~14:00

第2回 平成30年9月12日 13:00~14:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ・医師事務作業補助者のカリキュラムを導入したが、医師事務の実務に就くには更に医学的な知識が必要となり、就職活動の選択肢に入れるのは難しい。転職等も視野に入れ、効果を長期的に確認していく。。
- ・商業簿記については、基礎部分に時間をかけていくことで応用問題に対応する能力が向上した。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ・業界の現状と実作業に必要な知識を修得するための授業を実施する。仕事への姿勢、縦社会でのコミュニケーションを学ぶ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- ・実際に企業が必要としている知識や技術を現場の職員より、直に授業の中で教えてもらい、企業側の実務基準に応じた評価をしてもらう。

(	3)具体的な連携の例※	科目数については代表的な5科目について記載。	
	科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
		病院受付を想定した実習施設を利用し、患者応対等の実 践的な学習をする。	医療法人 誠心会 吉田病院

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ・教員に必要な実務上の知識、技術や指導力の向上を目的として、組織的な研修を行っていく。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成30年9月17日「医療事務実習ガイドライン説明研修会」に参加

対象: 医療事務担当教職員・社会人

内容:病院実習におけるガイドラインの必要性と使用方法の説明、実証報告、各学校の実習の位置づけや問題点についてグループディスカッションによる意見交換

②指導力の修得・向上のための研修等

平成31年3月26日「診療報酬改定における研修会」に参加

対象:医療事務担当教職員

内容:平成31年度、増税や妊婦加算等の改訂ポイントの要点を確認した。診療報酬請求事務能力認定試験の合格率低 下の分析と対策についてディスカッションを行った。

## (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「令和元年度診療報酬点数表のQ&A及びよくある請求事務の誤り事例について」

期間: 令和元年10月中旬 対象: 診療報酬請求事務従事者養成施設の教職員

内容: 摘要欄等、レセプト作成に関する事柄について、改訂ポイント以外も含めて、事例を通して学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「医事コンピュータ技能検定試験関連研修会」

期間:令和元年10月20日(日) 対象:教員・社会人

内容:実技演習を通して、電子カルテ・医療事務コンピュータ技能の向上・指導のポイントを学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目を中心に評価 を実施する。評価結果は公表するとともに、教育活動その他の学校運営に資するよう、校の内部での活用を図るものとす る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 教育理念•目標
(2)学校運営	2. 学校運営
(3)教育活動	3. 教育活動
(4)学修成果	4. 教育成果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	6. 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7. 学生の募集と受入
(8)財務	8. 財務
(9)法令等の遵守	9. 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	10. 社会貢献
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

病院・企業様等よりいただいた貴重な学校関係者評価を、学内の教務部門を中心に、下記のように活用している。

1.教務部で実施している毎月の課長会において、各関係学科への提言をフィードバックし、情報の共有と改善策等の策定 を行っている。

2.カリキュラム等の改定や、定期的な実習報告会に反映させている。 (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
山之内 勝	医療法人 誠心会 吉田病院	平成26年4月1日~	企業等委員
小林 葵	卒業生	平成26年4月1日~	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームペ→ジ・広報誌等の刊行物・その他( ))

URL: http://n-heart-web.net/common/pdfh26\_hyouka\_school.pdf

- 5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係
- (1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づき、企業等の学校関係者が連携に必要と考える学 校の教育活動その他の学校運営に関する情報を継続的に提供していく。また、連携および協力に更に必要と思われる情 報については、要請と必要性を鑑み慎重な判断をもって提供していく。 (2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の特徴
(2)各学科等の教育	学科・コース紹介
	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学校の特徴
(5)様々な教育活動・教育環境	資格·就職実績、施設·設備紹介
	キャンパスライフ
(7)学生納付金・修学支援	入試·学費情報
(8)学校の財務	法人の財務状況
(9)学校評価	学校関係者評価
(10)国際連携の状況	-
(11)その他	_

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ)広報誌等の刊行物・そのた( ))

URL: http://www.n-heart-web.net

		業実務専門課程 医療ビジネス科)平成30年度 類 ┃                              類 ┃													
	分類	Į				1-25		授	業方		場	所	教	員	
必修	択必	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校 外	専任	兼任	企業等との連携
0			医療事務 (医科)	診療報酬の算定に関する知識を学ぶ。	1 前	130		0			0			0	
0			医療事務(医 科)演習	レセプト作成等の問題に取り組み、知識を さらに定着させる他、病院見学や講演会を 通して医療事務職について総合的に学ぶ。	1 前	180			0	Δ	0		0		
0			診療報酬請求 事務(医科)	診療報酬請求事務能力認定試験(医科)合格に必要な知識を、問題集などの演習を通 して身に着ける。	1 前	180			0		0		0		
0			医療事務 制度論	健康保険や労災保険制度等の、各種医療保 険制度について学ぶ。	1 前	60		0			0		0		
0			基礎医学	基礎的な医学用語等について学ぶ。	1 前	20		0			0		0		
0			接遇マナー実 習	社会人としての心構え、基本動作、言葉遣 いをロールプレイングを通して習得する。	1 前	30				0	0		0		
0				表計算ソフトの操作およびビジネス書類の 作成法の基礎をパソコンを使用した実習を 通して習得する。	1 前	55				0	0		0		
0				医療事務コンピュータを使用し、レセプト 作成の技術の基礎を習得する。	1 前	40				0	0		0		
0			医事コン ピュータ学科 対策	医事コンピュータ検定に合格するための知 識を身に着ける。	1 後	35		0			0		0		
0			検定対策	電卓検定試験に向けた問題演習により、合 格レベルの知識を習得する。	1 後	30			0		0		0		
0			商業簿記 I	日商簿記検定3級取得に必要な基礎的な知 識を学習する。	1 後	170		0			0		0		
0			就職実務 I	就職活動に向けた準備として、自己分析、 企業研究、各種書類作成、採用試験対策を 学ぶ。	1 後	25		0			0		0		
0			医師事務作業 補助実務	診断書や処方箋の文書作成や医療機関を取り巻く環境を学び、医師事務作業補助者としての病院に勤務するための知識を習得する。	1 後	130		0			0		0		

	 T											
0	医療事務 (歯科)	歯科助手として必要な知識を学び、歯科診 療報酬の算定の方法を身に着ける。	2 前	150	0			0		0		
0	医療事務(歯科)演習	レセプト作成等の問題に取り組み、知識を さらに定着させる。	2 前	40		0		0		0		
0	調剤事務	調剤薬局事務員として必要な知識を学び、 調剤報酬の算定の方法を身に着ける。	2 前	120	0			0		0		
0	院内マナー実 習	病院受付を想定した実習施設を利用し、患 者応対等の実践的な学習をする。	2 前	40			0	0	0	0	0	0
0	労災保険制度	労災保険の概要と労災診療費の算定の仕方 について学ぶ。	2 前	35	0			0		0		
0	EXCELI	表計算ソフトの操作およびビジネス書類の 作成法の応用をパソコンを使用した実習を 通して習得する。		40			0	0		0		
0	WORD	文書作成ソフトの操作およびビジネス文書 の作成法の基礎をパソコンを使用した実習 を通して習得する。		65			0	0		0		
0	ビジネス文書	ビジネスの現場で用いられる用語や文書の 取り扱いの知識を学び、社内文書および社 外文書の作成方法を習得する。		35	0			0		0		
0		医療事務コンピュータを使用し、レセプト 作成の技術の応用を習得する。	2 後	35			0	0		0		
0	就職実務Ⅱ	就職活動に向けた準備として、自己分析、 企業研究、各種書類作成、採用試験対策を 学ぶ。	2 後	75	0			0		0		
0	商業簿記Ⅱ	全経簿記検定 2 級取得に必要な応用的な知 識を学ぶ。	2 後	80	0			0			0	
0	介護事務	介護サービスに関する知識を学び、介護報 酬請求の方法を身に着ける。	2 後	100	0			0		0		
	合計	25科目					Ě	<u> 单位</u>	詩間(	1, 9	00 単	(位)

卒業要件及び履修方法	授業期間等	$\neg$
出席率90%以上、成績評価C以上、卒業基準検定を全て取得	1 学年の学期区分 2期	
出席率90%以上、成績評価C以上、卒業基準検定を全て取得	1 学期の授業期間 18調	

# (留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

#### 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月	日   校長名			所在地							
長岡こども・医療					〒940-0047								
専門学校		平成25年1月8	·	新潟県	新潟県長岡市弓町1-8-34 (電話) 0258-35-1600								
設置者名		設立認可年月	日 代表者名	=051	所在地 i1-8065								
学校法人 新潟総合学	院	平成7年3月24		新潟県		屈通一番町494番地3 0-8565							
分野	17	定課程名	認定	2学科名		専門士		高原	<b>要專門士</b>				
商業実務		実務専門課程		<b>寮秘書科</b>		平成26年文部科学 告示第6号			-				
学科の目的	倫理観を	有する人材を育成す	、商業実務関係、教育・社会 することをもって、社会に貢	会福祉関係( 献し得る人	の専門課程を設置し 材を輩出することを	、各分野の専門知識・技行 目的とする。	術を教	授し、高度な専	門知識・技術及び				
認定年月日	平成27年	2月17日 全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位											
修業年限	昼夜	数	講義		演習	実習		実験	実技				
2 年	昼間	1,830	1095		430	305		0	単位時間				
生徒総定	員	生徒実員	留学生数(生徒実員の	内	<b>享任教員数</b>	兼任教員数		総	教員数				
50人		16人	0人		4人	5人			9人				
学期制度		]:4月1日~9月3 ]:10月1日~3月 ]:-			成績評価	■成績表: ■成績評価の基準・方 基準:A~Dの4段階 方法:検定結果、授業態		認テスト、期末	試験等の総合評価				
長期休み	■夏季: ■冬季:	台:4月9日 7月30日~8月16日 12月24日~1月9日 末:2月7日			卒業·進級 条件	出席率90%以上 成績評価C評価以上 卒業基準検定を全て取	7得						
学修支援等	■個別村 個別ガイ	目談・指導等の対応	習授業の実施、メールに	こよる相談	課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボ 長岡市イベントのボラン							
	病院、診 ■就職打 個別ガィ		T、調剤薬局 職セミナー開催、ビジネ			■サークル活動: ■国家資格・検定/その (平成29年度 資格・検定名	り他・ほ		〒5月1日時点の情報) 合格者数				
	導、情報 策等	ほ活用方法の指導。	. 就職筆記試験対策、面		医療事務管理士技能認定試験(医科)	3	12	12					
	■卒業	<b></b>	12	人		診療報酬請求事務能力認定試験(医科)	3	12	10				
	■就職ネ	希望者数	12			秘書検定3級	3	12	12				
±4100 00 0	■就職		12	人	主な学修成果								
就職等の 状況※2	■就職 <sup>図</sup> ■卒業者	経 : 背に占める就職者の	100 割合 100	%	(資格·検定等) ※3								
	■その他 ・進学者数			70									
	(平成 <b>■中途</b> ì	30 年度卒業 令和1年5月1日 <b>艮学者</b>		0 名	■中退	率 0	%						
中途退学 の現状	平成31年	4月1日時点におい 3月31日時点におい <b>&amp;学の主な理由</b>	て、在学者16名(平成30 いて、在学者16名(平成3	)年4月1日入 31年3月31日	学者を含む) 卒業生を含む)								
	実践行動		学状況に応じたカウンセリン		の情報共有に基づく	車携							
経済的支援 制度	<ul><li>※有の場</li><li>(1)特待</li><li>級入学金</li><li>(2)SR制</li><li>■専門</li><li>※給付対象</li></ul>	5万円授業料82万円 度…グループ各学校の 実践教育訓練給付 象の場合、前年度の組 者無し	筆記による審査で認定ランク の在校生・卒業生を家族・兄弟 : <u>給付対象・</u> 非終 給付実績者数について任意	弟姉妹に持っ <sup>.</sup> 計付対象 己載					万円授業料40万円、S				
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (春) 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)												
当該学科の ホームページ URL				http://n-	heart-web.net/ope	ninfo.html							

- (留意事項) 1. 公表年月日(※1)
- 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映 した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた告示日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

- した内容を公表することが水のられています。初回底定の場合は、底定を受けた告示日以降の日付を記入し、則回公表年月日は空欄としていたさい

  2. 就職等の状況(※2)

  (京職率)及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」に対ける就職手の定義における定義に従います。
  (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査における就職年の定義について
  ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
  ②「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
  ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。
  ③「京職者望者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいます。
- ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。 ※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の 者、留学生、聴講生、料目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。 (2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について ①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。 ②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くとといいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職 者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。 (3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した名」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3) 認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入資状況等)について記載します。

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針
- ・学外有識者、企業、業界団体等の意見をもとに専門分野の動向、要望を教育課程に取り入れ、実践的かつ専門的な知識・技能を持った人材育成教育を実施していく。
- (2)教育課程編成委員会等の位置付け
- ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会においては、既に実施されている教育課程の編成について内容と実績についての説明を行い、それ を踏まえて企業、業界団体等の委員からは、より実践的かつ専門的な教育課程が編成できるよう意見、要請を頂く。その 場での質疑応答を行うとともに、その後の継続的な校内での検討や、必要に応じた日頃からの連携を基に、教務責任者 が中心となって定期的にカリキュラム改善等の教育課程編成につなげる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
亀山 智弘	汎日本海循環器病研究会 事務局長	平成26年10月23日~	1
大原 恒二	社会福祉法人 信濃川令終会 理事	平成26年4月1日~	3
山之内 勝	医療法人 誠心会 吉田病院	平成26年4月1日~	3
山本 秀一郎	長岡こども・医療・介護専門学校	平成30年4月1日~	
山口 晶一	長岡こども・医療・介護専門学校	平成30年4月1日~	
小池 利春	長岡こども・医療・介護専門学校	平成29年6月1日~	
長谷川 佳奈子	長岡こども・医療・介護専門学校	平成26年4月1日~	

- ※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。
  - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、 地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
  - ②学会や学術機関等の有識者
  - ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
- (年間の開催数及び開催時期)

年2回

(開催日時(実績))

第1回 平成30年4月11日 13:00~14:00

第2回 平成30年9月12日 13:00~14:00

- (5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
- ・医師事務作業補助者のカリキュラムを導入したが、医師事務の実務に就くには更に医学的な知識が必要となり、就職活動の選択肢に入れるのは難しい。転職等も視野に入れ、効果を長期的に確認していく。。
- ・秘書論については、短期間で読解力の向上を図るのは限界があるため、イメージイラスト等を用いて言葉の意味を理解できるような工夫をしている。
- 2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係
- (1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
- ・業界の現状と実作業に必要な知識を修得するための授業を実施する。仕事への姿勢、縦社会でのコミュニケーションを学ぶ。
- (2)実習・演習等における企業等との連携内容
- ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
- ・実際に企業が必要としている知識や技術を現場の職員より、直に授業の中で教えてもらい、企業側の実務基準に応じた評価をしてもらう。

(	(3)具体的な連携の例※	科目数については代表的な5科目について記載。	
	科 目 名	科 目 概 要	連携企業等
	院内マナー実習	病院受付を想定した実習施設を利用し、患者応対等の実 践的な学習をする。	医療法人誠心会 吉田病院

- 3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係
- (1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
- ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記
- ・教員に必要な実務上の知識、技術や指導力の向上を目的として、組織的な研修を行っていく。

#### (2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

平成30年9月17日「医療事務実習ガイドライン説明研修会」に参加

对象:医療事務担当教職員•社会人

内容:病院実習におけるガイドラインの必要性と使用方法の説明、実証報告、各学校の実習の位置づけや問題点についてグループディスカッションによる意見交換

②指導力の修得・向上のための研修等

平成31年3月26日「診療報酬改定における研修会」に参加

対象:医療事務担当教職員

内容:平成31年度、増税や妊婦加算等の改訂ポイントの要点を確認した。診療報酬請求事務能力認定試験の合格率低下の分析と対策についてディスカッションを行った。

## (3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名「令和元年度診療報酬点数表のQ&A及びよくある請求事務の誤り事例について」

期間:令和元年10月中旬 対象:診療報酬請求事務従事者養成施設の教職員

内容: 摘要欄等、レセプト作成に関する事柄について、改訂ポイント以外も含めて、事例を通して学ぶ。

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名「医事コンピュータ技能検定試験関連研修会」

期間:令和元年10月20日(日) 対象:教員・社会人

内容:実技演習を通して、電子カルテ・医療事務コンピュータ技能の向上・指導のポイントを学ぶ

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

#### (1)学校関係者評価の基本方針

「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいて学校関係者評価委員会を設置し、設定した評価項目を中心に評価 を実施する。評価結果は公表するとともに、教育活動その他の学校運営に資するよう、校の内部での活用を図るものとす る。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	1. 教育理念•目標
(2)学校運営	2. 学校運営
(3)教育活動	3. 教育活動
(4)学修成果	4. 教育成果
(5)学生支援	5. 学生支援
(6)教育環境	6. 教育環境
(7)学生の受入れ募集	7. 学生の募集と受入
(8)財務	8. 財務
(9)法令等の遵守	9. 法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	10. 社会貢献
(11)国際交流	-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

病院・企業様等よりいただいた貴重な学校関係者評価を、学内の教務部門を中心に、下記のように活用している。

1.教務部で実施している毎月の課長会において、各関係学科への提言をフィードバックし、情報の共有と改善策等の策定 を行っている。

2.カリキュラム等の改定や、定期的な実習報告会に反映させている。 (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和1年9月28日現在

名 前	所 属	任期	種別
山之内 勝	医療法人 誠心会 吉田病院	平成26年4月1日~	企業等委員
小林 葵	卒業生	平成26年4月1日~	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他(

URL: http://n-heart-web.net/common/pdfh26\_hyouka\_school.pdf

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況 に関する情報を提供していること。」関係

))

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に基づき、企業等の学校関係者が連携に必要と考える学 校の教育活動その他の学校運営に関する情報を継続的に提供していく。また、連携および協力に更に必要と思われる情 報については、要請と必要性を鑑み慎重な判断をもって提供していく。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

X / U/2
学校が設定する項目
学校の特徴
学科・コース紹介
教職員
学校の特徴
資格·就職実績、施設·設備紹介
キャンパスライフ
入試·学費情報
法人の財務状況
学校関係者評価
-
-

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・そのた( ))

URL: http://www.n-heart-web.net

		業実務専門課程 医療秘書科)平成30年度													
_	分類	Į				J.:::		授	業方		場	所	教	員	_
必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	企業等との連携
0			医療事務 (医科)	診療報酬の算定に関する知識を学ぶ。	1前	130		0			0			0	
0			医療事務(医 科)演習	レセプト作成等の問題に取り組み、知識を さらに定着させる他、病院見学や講演会を 通して医療事務職について総合的に学ぶ。	1前	180			0	Δ	0		0		
0			診療報酬請求 事務(医科)	診療報酬請求事務能力認定試験(医科)合 格に必要な知識を、問題集などの演習を通 して身に着ける。	1前	180			0		0		0		
0			医療事務 制度論	健康保険や労災保険制度等の、各種医療保 険制度について学ぶ。	1前	60		0			0		0		
0			基礎医学	基礎的な医学用語等について学ぶ。	1前	20		0			0		0		
0			接遇マナー実習	社会人としての心構え、基本動作、言葉遣 いをロールプレイングを通して習得する。	1前	30				0	0		0		
0			EXCELI	表計算ソフトの操作およびビジネス書類の 作成法の基礎をパソコンを使用した実習を 通して習得する。	1前	55				0	0		0		
0			PCレセプト 実習 I	医療事務コンピュータを使用し、レセプト 作成の技術の基礎を習得する。	1前	40				0	0		0		
0			医事コン ピュータ学科 対策	医事コンピュータ検定に合格するための知 識を身に着ける。	1後	35		0			0		0		
0			検定対策	電卓検定試験に向けた問題演習により、合 格レベルの知識を習得する。	1後	30			0		0		0		
0			秘書論 I	秘書検定3級取得に必要な基礎的な知識を 学ぶ。	1後	100		0			0		0		
0			就職実務I	就職活動に向けた準備として、自己分析、 企業研究、各種書類作成、採用試験対策を 学ぶ。	1後	25		0			0		0		
0			医師事務作業 補助実務	診断書や処方箋の文書作成や医療機関を取り巻く環境を学び、医師事務作業補助者としての病院に勤務するための知識を習得する。	1 後	130		0			0		0		

0			医療事務 (歯科)	歯科助手として必要な知識を学び、歯科診 療報酬の算定の方法を身に着ける。	2前	150		0			0		0		
0			医療事務(歯科)演習	レセプト作成等の問題に取り組み、知識を さらに定着させる。	2前	40			0		0		0		
0			調剤事務	調剤薬局事務員として必要な知識を学び、 調剤報酬の算定の方法を身に着ける。	2前	120		0			0		0		
0			院内マナー実 習	病院受付を想定した実習施設を利用し、患 者応対等の実践的な学習をする。	2前	40				0	0	0	0	0	0
0			労災保険制度	労災保険の概要と労災診療費の算定の仕方 について学ぶ。	2前	35		0			0		0		
0			EXCELI	表計算ソフトの操作およびビジネス書類の 作成法の応用をパソコンを使用した実習を 通して習得する。		40				0	0		0		
0			WORD	文書作成ソフトの操作およびビジネス文書 の作成法の基礎をパソコンを使用した実習 を通して習得する。		65				0	0		0		
0			ビジネス文書	ビジネスの現場で用いられる用語や文書の 取り扱いの知識を学び、社内文書および社 外文書の作成方法を習得する。	2後	35		0			0		0		
0			PCレセプト 実習 II	医療事務コンピュータを使用し、レセプト 作成の技術の応用を習得する。	2後	35				0	0		0		
0			就職実務Ⅱ	就職活動に向けた準備として、自己分析、 企業研究、各種書類作成、採用試験対策を 学ぶ。	2後	75		0			0		0		
0			秘書論Ⅱ	秘書検定 2 級取得に必要な応用的な知識を 学ぶ。	2後	80		0			0			0	
0			介護事務	介護サービスに関する知識を学び、介護報 酬請求の方法を身に着ける。	2後	100		0			0		0		
	合計 25科目 単位時間(1,830 単位									(位)					

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
出席率90%以上、成績評価C以上、卒業基準検定を全て取得	1 学年の学期区分	2期
山乕年3070以上、以積計画0以上、平未基準快足を主て取付	1 学期の授業期間	18週

# (留意事項)

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。

<sup>1</sup> 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。